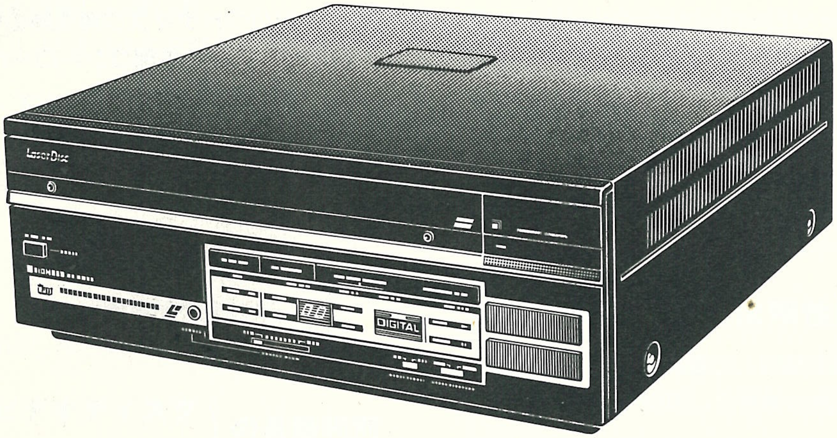
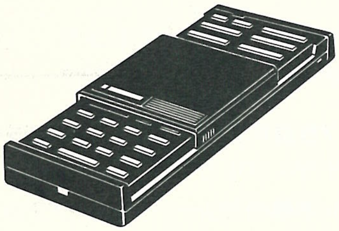
LaserDisc ™

取扱説明書

コンパクトディスク/レーザービジョン プレーヤー

CLD-9000





準 備
2ページ
〜
19ページ

操 作

基本操作
19ページ

ビデオディスク
リモコン操作
24ページ

コンパクトディスク
リモコン操作
24ページ

外部コントロール
35ページ

取扱い上の注意

故障？ちょっと調べてください

仕 様

本機を正しく接続，操作していただくために，この取扱説明書を必ずお読みください．また，お読みになった後は，「保証書」「サービスネットワーク」と一緒に大切に保管していただき，使用中にわからないことがあったときに手引きとしてご利用ください．

本機には下記マークの付いたディスクをお使いください．

LaserVision
（レーザービジョンビデオディスク）

COMPACT disc DIGITAL AUDIO
（コンパクトディスク）

CLD-9000には“シルバー”，“ブラック”の２つの外観色タイプがあります．
この取扱説明書は“シルバー”，“ブラック”のいずれのタイプの説明書としてもお使いいただけます．

本機は内部機構が輸送用ネジで固定されています．ご使用前に必ずゆるめてください．（4ページ参照）

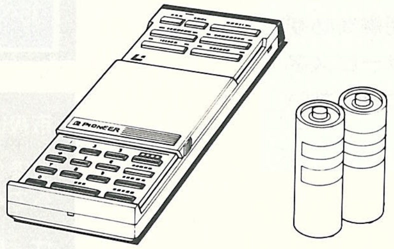
PIONEER®

目 次

特 長 …… 3
輸送用ネジについて …… 4
ディスクの取扱いについて …… 6
ご使用前の準備 …… 7
後面パネル各部の名称と使い方 …… 8
接続のしかた …… 9
各部の名称と使い方 …… 16
基本操作 …… 19
リモコン操作
　ビデオディスク再生時のリモコン操作 …… 24
　コンパクトディスク再生時のリモコン操作 …… 32
I/Oポートによる外部コントロール …… 35
プレーヤー取扱い上の注意 …… 36
故障？ ちょっと調べてください …… 37
仕 様 …… 39

〈付属品の確認〉 本機には下記の部品が付属しています。

- リモートコントロールユニット（CU-9000）
- 単３乾電池（SUM-3）

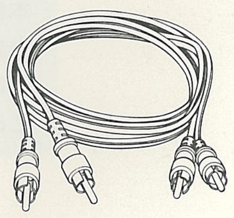


- 変換器（300Ω→75ΩF）

ご使用の VHF アンテナケーブルが 300Ωフィーダーの場合，本機のアンテナ端子へ接続するのに使用します.

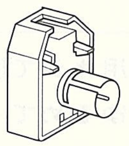
- ピンプラグ付オーディオケーブル

本機のオーディオ出力端子とステレオアンプの AUX 入力端子の接続に使用します.



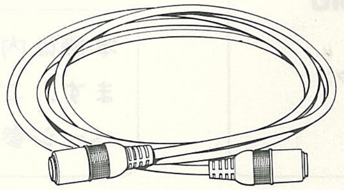
- 75Ω簡易F型プラグアダプター

ご使用の VHF アンテナケーブルが 75Ω同軸ケーブルで，先端にF型プラグが付いていないとき，本機のアンテナ端子との接続に使用します.



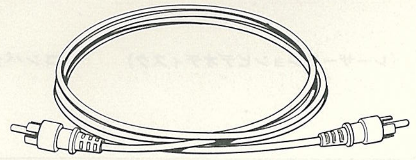
- F 型プラグ付同軸ケーブル

テレビと本機を接続するのに使用します．テレビのアンテナ端子の形状によっては一端を加工して使用します.



- ピンプラグ付同軸ケーブル

カラーモニターを使用する場合，本機のビデオ出力端子と，カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します.



- 取扱説明書
- サービスネットワーク
- 保証書

特 長

同じようにレーザー光を使って再生するレーザービジョン（LaserVision）ビデオディスクとコンパクトディスクを，１台のプレーヤーでかけられる──CLD-9000 はそれを実現しました.
また，より高品質な音声で楽しめるレーザービジョンデジタル音声ディスク*の再生も可能にしました.
そのほかに CLD-9000 には次のような特長があります.

レーザーダイオード搭載

プレーヤーの心臓部であるピックアップの光源に信頼性に優れ，寿命の長いレーザーダイオードを搭載しています.

フロントローディング機構

操作性の向上を図るとともに，設置場所を選ばないフロントローディング機構を採用しました.

（レーザービジョンビデオディスク／コンパクトディスク）の自動判別

かけたいディスクをセットし，ディスクテーブルを押込めばディスクを自動的に判別し，かけたディスクの再生可能状態になります.

CX ノイズリダクションシステム内蔵

CX エンコーデッドビデオディスクとの組合わせで，ダイナミックレンジの拡大，S/N の大幅向上が可能です.

操作性の優れたファンクションスイッチ

ファンクションボタンにはロジックコントロールによる軽快なフィーリングのソフトプッシュスイッチを採用，優れた操作性を有しています.

ワイヤレスリモートコントロール

付属のリモートコントロールユニットを使って，ほとんどの機能を遠隔操作できます.

専用 LSI による高信頼性設計

高度の回路技術を結集し，回路部品を大幅に集積化した専用 LSI を採用，安定した性能と品質が得られています.

I/O ポートを使った外部コントロール

別売のパイオニア・パーソナルコンピューターPX-7，PX-V7と接続すれば，パソコンによる外部コントロールができます.

レーザービジョンビデオディスクについて

レーザービジョンビデオディスクには標準ディスクと長時間ディスクがあります．また，デジタル音声も合わせて記録されたディスクもあります.

標準（CAV）ディスク

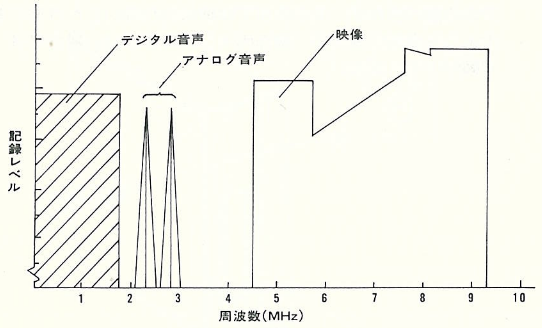
定速回転（Constant Angular Velocity：CAV）で再生します.
静止／コマ送り，３倍速再生，マルチスピード再生などのトリックプレイができます．また，ランダムアクセスやチャプターストップ，２点間リピート再生などの機能も楽しめます.

長時間（CLV）ディスク

一定の線速度（Constant Linear Velocity）に従って再生します．そのため，標準ディスクに比べてより長時間の再生ができます.
トリックプレイはできませんが，ランダムアクセス，チャプターストップ，２点間リピートなどの操作は可能です.

デジタル音声ディスク（LaserVision with Digital Sound Disc）

従来のアナログ音声信号に加えて，コンパクトディスクと同じように PCM 化した音声信号も合わせて記録されたレーザービジョンビデオディスクです.
レーザービジョンビデオディスクの高品質の映像と同時に，コンパクトディスクと同様のデジタルサウンドが楽しめます．これらの音声は，下図に示すように別の周波数帯域を使用して記録されています.
この説明書では，これらを便宜上，"アナログ音声"，"デジタル音声"という名称を用いて表わしています.



記録信号のスペクトラム

輸送用ネジについて

本機は内部機構を２か所の輸送用ネジで固定しています．ご使用前にゆるめてください．輸送用ネジをゆるめずにご使用になると正常に動作しませんのでご注意ください．また，引っ越しなどで本機を再輸送される場合には，輸送用ネジをもとどおり締付けてから移動してください．

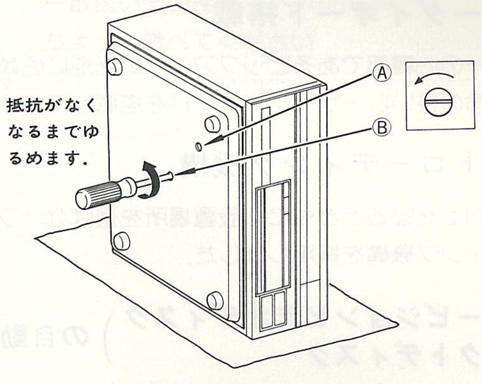
輸送用ネジのゆるめかた

1 布などを下に敷いてキズをつけないように注意しながら本機を横向き(向って右側を下にして)に立てます．
2 手で支えながら，図に示すⒶ，Ⓑの輸送用ネジを，マイナスドライバーで順にゆるめます．なお，これらのネジはゆるめてもはずれることはありません．

☞ 輸送用ネジは，抵抗がなくなるまで十分にゆるめてください．

本機を立てる場合には，必ず横向きに立ててください．前面パネルを上(後面端子板を下)にはしないでください．

＊ 本機のピックアップは前後方向に動きます．前面パネルを上にして立て輸送用ネジをゆるめると，ピックアップが自重によって降下し，場合によっては故障の原因となることがあります．ご注意ください．



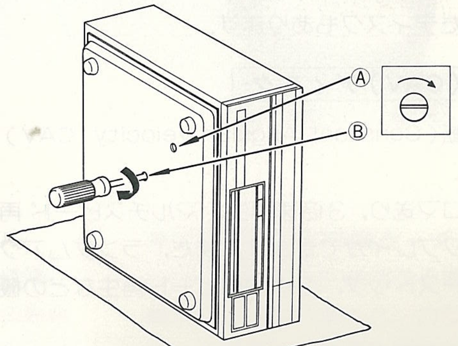
布などの柔らかいものを敷いてください．

輸送用ネジの締めかた

輸送用ネジを締める前にディスクがセットされていないかを確認してください．ディスクがセットされたままになっている場合には必ず取出してください．

1 電源を切って，プレーヤーを横向き(向って右側を下にして)に立てます．
2 手で支えながらⒶ，Ⓑの輸送用ネジをもとどおり締付けます．

☞ 最後に使ったのがコンパクトディスクだった場合などには輸送用ネジの位置が合わず，そのままでは締められないことがあります．そのような場合には次の"輸送用ネジが締まらない場合には"の手順で締付けてください．



輸送用ネジが締まらない場合には

ネジ Ⓐ，Ⓑ が両方とも締まらない場合
ネジ Ⓐ が締まらない場合

[①立てていたプレーヤーをもとに戻す]

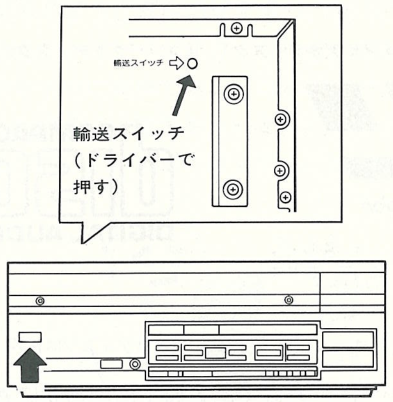
[②後面パネル右上の穴の奥にある輸送スイッチをドライバーで押しながら電源を入れる．
☞ 電源を入れたあと4秒くらいたてば輸送スイッチを押すのをやめてもかまいません．]

[③そのままさらに15〜16秒ほど待ち，電源を切る．]

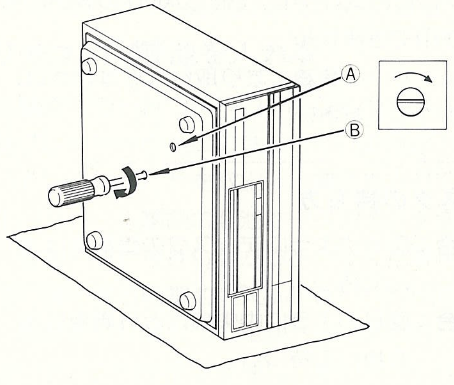
[④プレーヤーを横向き(向って右側を下にして)に立てる．]

[⑤手で支えながら輸送用ネジ(Ⓐ，Ⓑまたは Ⓐ)を締付ける．]

※お手もとにビデオディスクがある場合には，次の方法で簡単に輸送用ネジの位置合わせができます．
1) 電源を入れ，ビデオディスクをセットする．
2) EJECT(▲)ボタンを押し，ディスクを取出す．
この操作のあと，電源を切ってプレーヤーを横向きに立てれば輸送用ネジは締められます．



電源を入れる



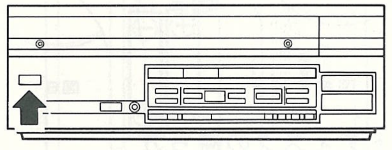
ネジ Ⓑ が締まらない場合

[①立てていたプレーヤーをもとに戻す．]

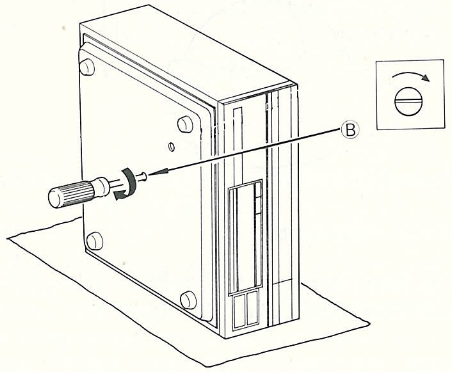
[②電源を入れて５〜６秒待ってから電源を切る．]

[③プレーヤーを横向き(向って右側を下にして)に立てる．]

[④手で支えながら輸送用ネジⒷを締付ける．]



電源を入れ，５〜６秒待つ



ディスクの取扱いについて

■本機には下記のマークの付いたレーザービジョンビデオディスク，コンパクトディスクが使用できます．

（レーザービジョンビデオディスク）　（コンパクトディスク）

LaserVision

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

このマークは，レーザービジョンビデオディスクの統一マークです．

☞本機にはCED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません．

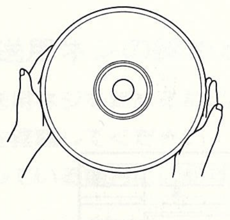
■本機は日本のテレビ方式であるＮＴＳＣ方式に適合しています．他のテレビ方式（PAL，SECAM）の表示のあるディスクは使用できません．

■ディスクをプレーヤーに装着したり取りはずすときは，図のように取扱ってください．

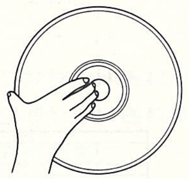
ビデオディスクの持ち方

両手で持つ場合：図Aのようにディスクの両端をはさんで持つ．

片手で持つ場合：図Bのように中央の穴と外周部に指を掛けて持つ



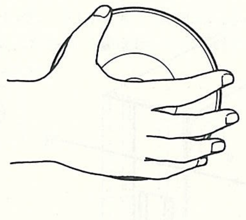
図A



図B

コンパクトディスクの持ち方

図Cのように両端をはさんで持つ．



図C

コンパクトディスクのレーベル面に紙やシールを貼付けたり，キズを付けたりしないでください．

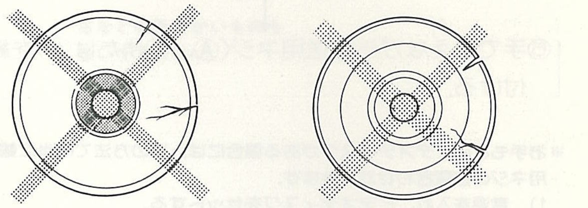
■レーザービジョンビデオディスクのジャケットもしくはレーベル上のStandard Playマークは標準（CAV）ディスクを，Extended Playマークは長時間（CLV）ディスクを意味します．

Extended Playマークの付いたディスクでは，マルチスピード，３倍速，静止／コマ送り，フレームナンバーサーチはできません．

Standard Play　＝標準ディスク/CAV

Extended Play　＝長時間ディスク/CLV

■ディスクはプレーヤー内で高速回転します．異常なディスク（ひびが入ってしまったディスクや大きくそってしまったディスク）は使用しないでください．プレーヤーを故障させる原因となることがあります．



■ディスクに指紋やホコリが付いた場合でも，ディスクに記録された信号には直接影響しません．しかし，汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが低減して，画質や音が悪くなることがあります．ディスクはいつもきれいに保管するよう心掛けてください．清掃する場合は柔らかい布でディスクの内周から外周方向へホコリやゴミを軽く拭取るようにしてください．

■汚れがひどい場合には，中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し，よく絞ってから汚れを拭取り，そのあと乾いた布で水気を拭取ってください．

ディスクの清掃には別売の**ディスククリーニングキットJV-1**の使用をおすすめします．

■レコードスプレー，帯電防止剤などは使用しないでください．また，ベンジン，シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあります．ご注意ください．

■再生を終了もしくは中止したときは，ディスクをプレーヤーから必ず取出してください．取出したディスクはジャケットまたはケースに収め，高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください．

また，車のシートの上などは予想以上に高温となりますのでディスクを放置しないようにしてください．

☞　ジャケットに戻していても，ビデオディスクを斜めにしたり積重ねて保管すると，ディスクがそる場合があります．ご注意ください．

ご使用前の準備

プレーヤーの設置

●ご使用になっているテレビや一緒に使うステレオシステムのそばの安定した台の上をお選びください．

●スピーカーとテレビ（モニター）は多少離して設置してください．

●プレーヤーの上には重いものを置かないでください．また，カセットデッキなど磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください．

●FM・AM 放送を受信しているとき，本機に電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります．本機を使用しないときには電源を切っておいてください．

また，室内アンテナを使って放送を受信していて雑音が入る場合には，アンテナの方向等の取付け調整をしなおしてください．

■高温多湿を避けてください

直射日光やスポットライトの当たる所，ストーブなどの暖房器具のそばには設置しないでください．キャビネットや内部部品に悪影響を与えます．また，湿気やホコリの多い場所も避けてください．故障や事故の原因になります．

調理台のそばなどの油煙，蒸気，熱が当たる場所や水のかかる可能性のある場所も避けてください．

■国内でのみご使用ください

本機は日本国内専用仕様です．使用電源は交流100Vです．（大型クーラー用などの200Vコンセントは使用しないでください．大変危険です）．

■風通しをよくしてご使用ください．

本機を毛足の長い敷物やベッド，ソファーの上に設置したり，通風孔を布などでおおったりしないでください．放熱が悪くなり，故障の原因となります．

また，アンプなどの熱を発生する機器の上には設置しないようにしてください．他のオーディオ機器と一緒にラックに入れる場合には，アンプなどから出る熱の影響を避けるため，アンプよりも下の棚（ホコリをかぶる心配のないできるだけ下の棚）に入れ，風通しをよくしてご使用ください．

結露現象について

本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ，本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります．このような場合には電源を入れる前に１～２時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください．

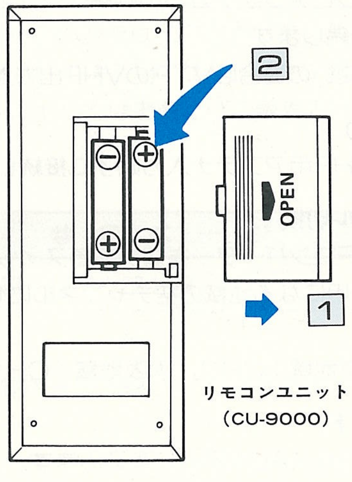
リモコンに電池を入れる

本機のリモートコントロールユニットは，梱包箱を開けた時プレーヤーの上にのせられている段ボール板の内側に入っています．これを取出し，電池を入れてください．

1リモコンの裏側の電池ケースのふたを開けてください．
親指でふたを押しながら右へ引くと簡単に開きます．

2付属の単３乾電池（SUM-3）２本を取出し，電池ケースの表示にしたがって電池ケースに入れ，ふたを閉めます．

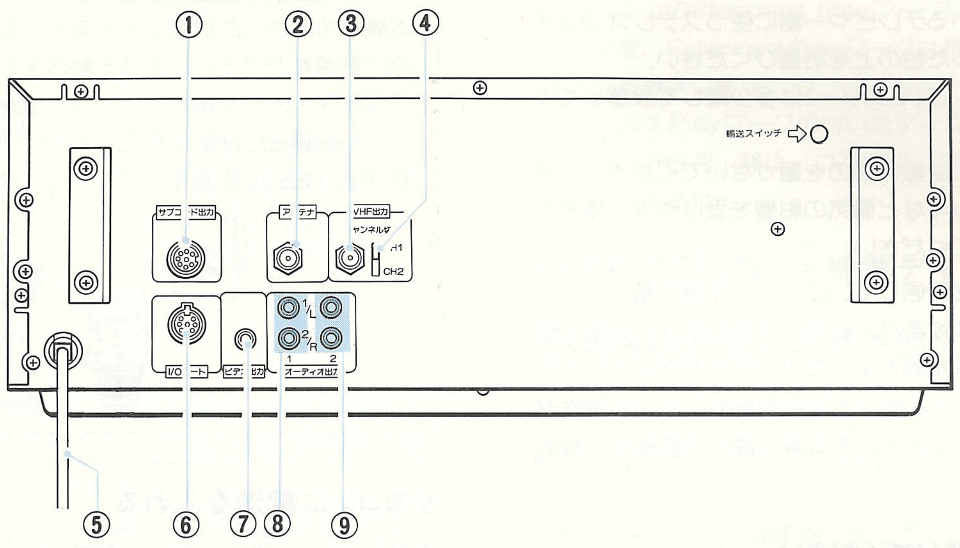
3リモコンのボタンを押し，赤いインジケーターが点滅することを確かめます．



リモコンユニット
（CU-9000）

乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなど危険があります．
次の点について特にご注意ください．
1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください．
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください．
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります．種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください．
4. 電池には充電式と充電式でないものがあります．電池の注意表示をよく見てご使用ください．

後面パネル各部の名称と使い方



①サブコード出力
コンパクトディスクにオーディオ信号と共に記録することのできる信号（SUBCODE）を将来利用する場合の信号出力端子です.

②アンテナ
VHF用テレビアンテナからの同軸ケーブル（75Ω）をこの端子に接続します.
VTRをお使いの場合はVTRのVHF出力を接続します.

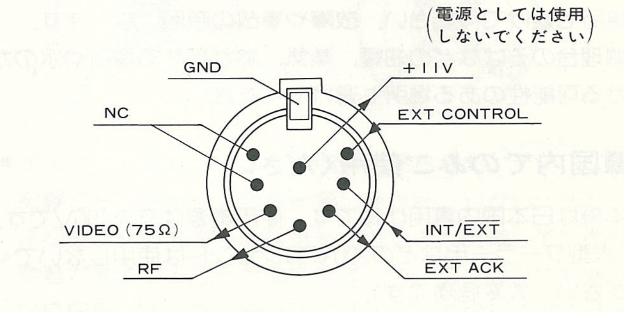
③VHF 出力
テレビのVHF用アンテナ入力端子に接続します.

④チャンネル切換
内蔵のVHFコンバーターを切換えるスイッチです.
本機をご使用になる地域の空チャンネルにセットしてください.
（例）東京地域：CH2，大阪地域：CH1

⑤電源コード
電源コンセント（AC100V）に差込みます.

⑥I/Oポート
本機を外部コントロールする場合のI/O端子です.
パイオニアのコンポーネントディスプレイ“SEED（シード）”とつないでシステムコントロールを行なう場合に，“SEED”の“ビデオディスク・コントロール”端子と接続します（15ページ参照）.
また，パーソナルコンピューターPX-7と接続すれば，BASICのコマンドで本機をコントロールできます（35ページ参照）.

I/Oポートのピン配置



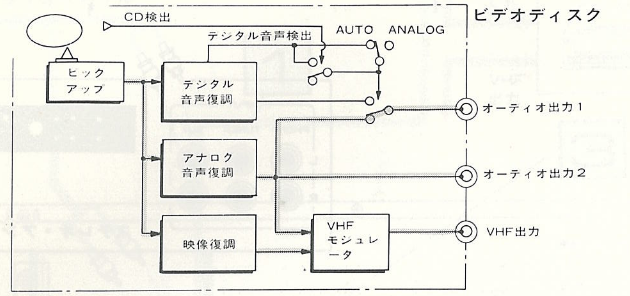
⑦ビデオ出力
カラーモニターで映像を再生する場合にカラーモニターの映像入力端子へ接続します. またはTVチューナーの映像入力端子に接続します.

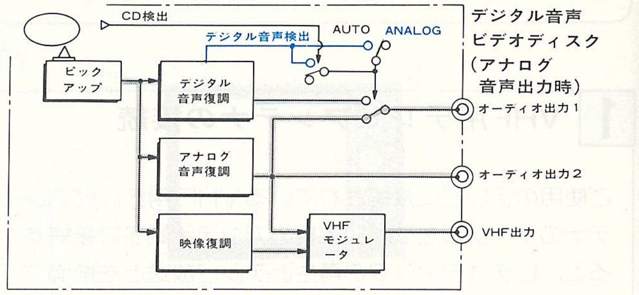
⑧オーディオ出力1
ステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの表示の入力端子と接続します.
デジタル音声も記録されたビデオディスク再生時には，前面パネルの VIDEO DISC AUDIO ツマミでデジタル／アナログを切換えます.
コンパクトディスクの音声はこの端子からのみ出力されます.

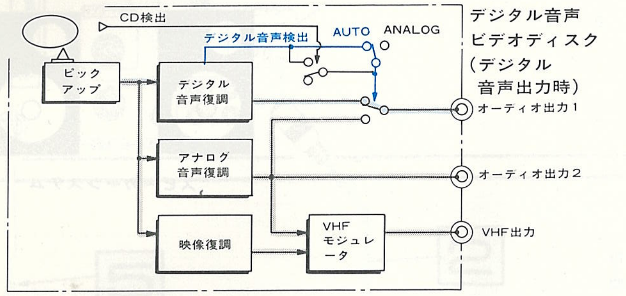
⑨オーディオ出力2
ステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの表示の入力端子と接続します.
この端子からは，ビデオディスクのアナログ音声だけが出力されます.

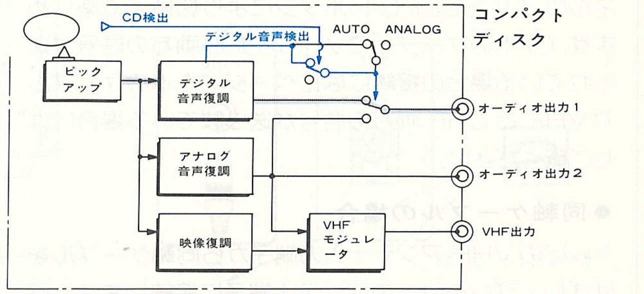
オーディオ出力端子について

本機には音声の出力端子として“オーディオ出力”端子が2組備わっています.
“オーディオ出力2”端子からは，ビデオディスクのアナログ音声（3ページ参照）のみが出力されます.
“オーディオ出力1”端子からはビデオディスクのアナログ音声，デジタル音声，コンパクトディスクの音声が出力できます.









※オーディオ出力1，オーディオ出力2のL，R出力は便宜上まとめて表わしてあります.

※図は説明のための便宜的な図であり，実際の信号の処理とは異なります.

☞ VHF出力端子からはコンパクトディスクの音声，ビデオディスクのデジタル音声は出力されません.

接続のしかた

本機は家庭用のテレビ，ステレオと組合わせるだけで，ビデオディスクの再生，コンパクトディスクの演奏を楽しむことができます. またテレビチューナーやVTRと組合わせてもそれぞれの映像，音声の切換が容易にできます.
組合わせ，接続のしかたはここにあげた以外にも考えられますが，詳細はパイオニアのサービスセンター，サービスステーション，もしくはお買上げの販売店にお問合わせください.

接続例	組合わせ機器	参照ページ
1	テレビ，ステレオ，（VTR）	10〜12ページ上段
2	カラーモニター （または映像・音声入力端子付のテレビ） ステレオ	12ページ下段
3	VHFコンバーター内蔵のTVチューナー テレビ，ステレオ，（VTR）	10〜12ページ上段 13ページ
4	映像入出力端子をもつTVチューナー カラーモニター，ステレオ，（VTR）	14ページ
5	パイオニアのコンポーネントディスプレイ SEEDを使用する場合	15ページ

接続例１（CLD-9000＋TV＋ステレオ(＋VTR)）

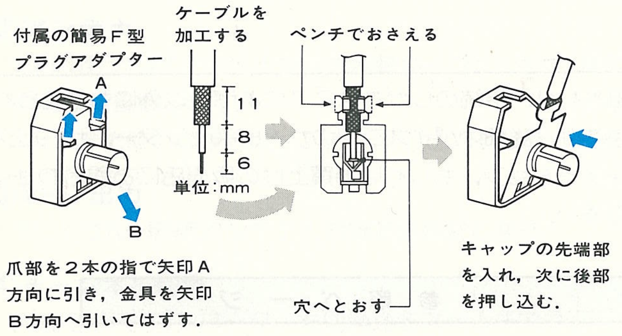
接続中はテレビ，ステレオアンプ，プレーヤーの電源プラグはコンセントから抜いておいてください．接続がすべて終わるまで電源は入れないでください．

1 VHF用テレビアンテナの接続

ご使用のテレビに接続されているVHF用テレビアンテナのケーブルをはずし本機のアンテナ端子に接続すると，ビデオディスクの再生とテレビ放送とを前面パネルのTV SELECT ボタンにより切換えて楽しめます.（1本のケーブルでVHF，UHF両方の信号が送られている場合の接続には12ページ“1本のケーブルでVHFとUHF両方の信号が送られている場合には”もご覧ください.）

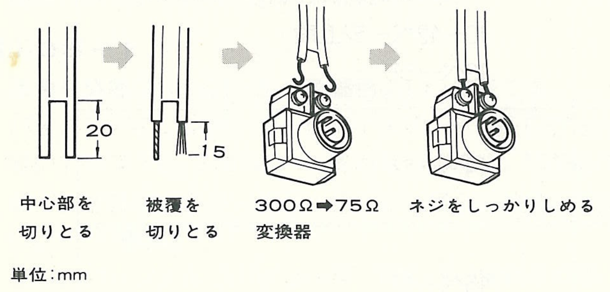
●同軸ケーブルの場合

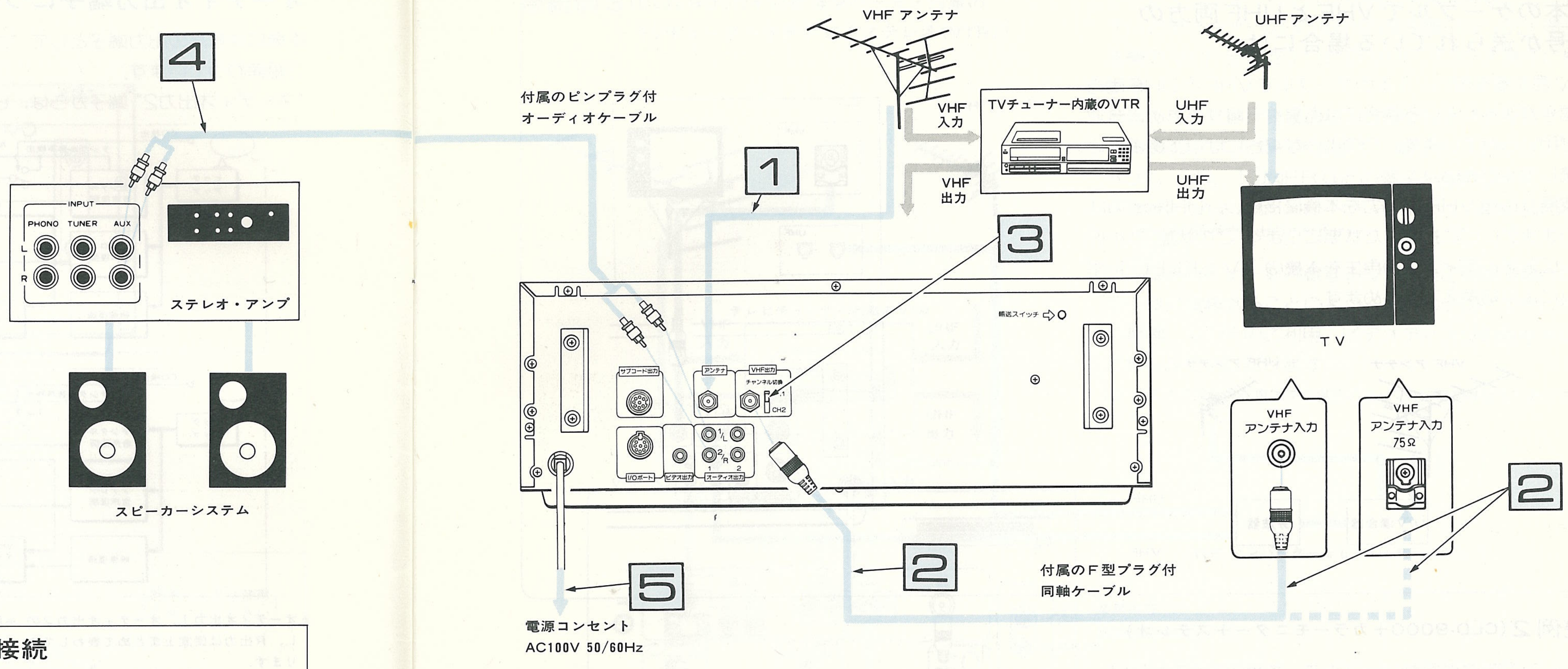
テレビのVHFアンテナ入力端子から同軸ケーブルをはずし，プレーヤーのアンテナ端子に接続します．同軸ケーブルの先端がF型プラグでない場合には，付属のF型プラグアダプターを使用してください．



●平行フィーダーの場合

テレビのVHFアンテナ入力端子から平行フィーダーをはずし，付属の変換器（300Ω→75ΩF型プラグ）を使ってプレーヤーのアンテナ端子に接続します．





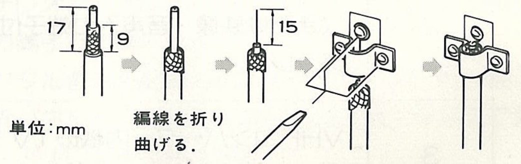
2 テレビへの接続

付属のF型プラグ付同軸ケーブルでプレーヤーのVHF出力端子とテレビの75ΩVHFアンテナ端子を接続します．テレビのVHFアンテナ端子がF型ターミナルでない場合には，同軸ケーブルの一端を加工して接続してください．

☞ 接続コードのプラグはしっかりと差込んでください．差込みかたが不完全ですと，画面にノイズが出たり，雑音が発生する原因となります．

☞ VHFアンテナ入力端子の形状やアンテナ線の取付けかたはテレビによってそれぞれ違います．詳細はお手持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください．

●次の手順で先端を加工，取りつけます．



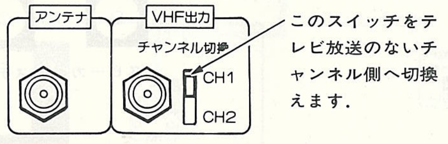
＊ご使用のテレビセットのVHFアンテナ端子が300Ω端子だけで75Ω端子がない場合の接続には変換器が必要です．お買上げの販売店にご相談ください．

☞ “VHF出力”端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません．

3 VHF出力を空チャンネルにあわせる

本機はビデオディスクから再生した映像と音声（アナログ音声）をテレビ放送と同じ信号に変換してテレビの空チャンネル（1または2）へ送り出します．
ご使用の地域に1チャンネルの放送がない場合はスイッチをCH1側(上側)に，2チャンネルの放送がない場合はスイッチをCH2側(下側)にします．これがビデオディスク再生用のチャンネルとなります．

例　東京地域：CH2
　　大阪地域：CH1



4 ステレオアンプへの接続

付属のピンプラグ付オーディオケーブルでステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子と本機の“オーディオ出力1”端子を接続します．

☞ “オーディオ出力2”端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません．

5 電源コードの接続

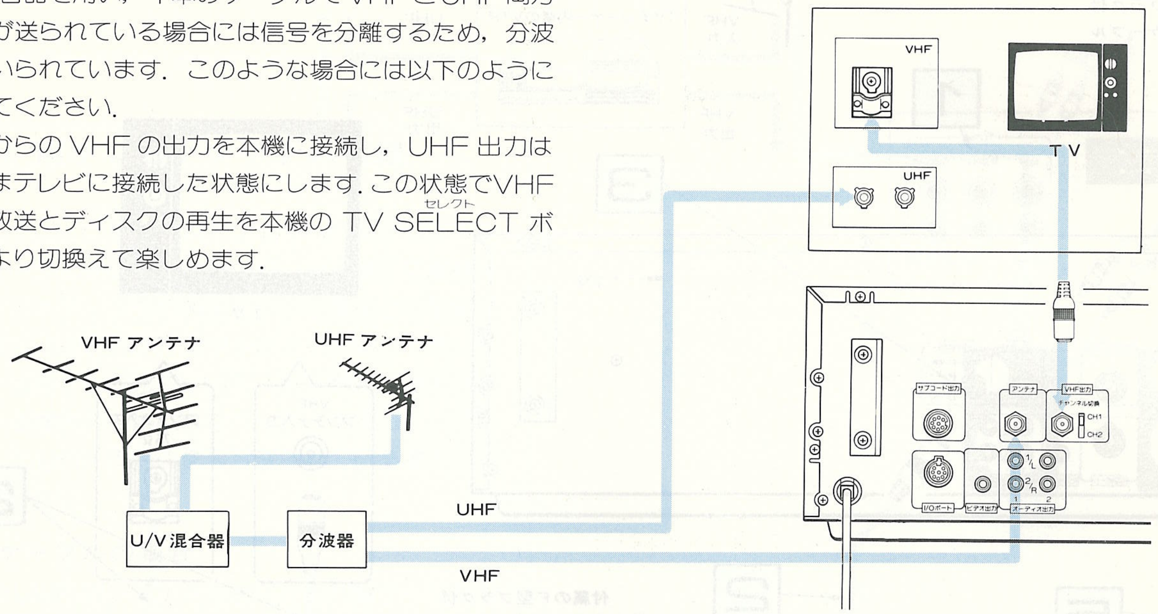
プレーヤー，テレビ，ステレオアンプの電源コードをAC100Vの電源コンセントに差込みます．

家庭用コンセントの交流電源にはホット側とアース側があり，アース側は大地に接続されています．本機は電源の極性管理がされていますので次の方法で接続することをおすすめします．
コンセントの溝の短かい方に，電源プラグ上の刻印“PIONEER”の「P」を合わせて差込んでください．
極性を合わせていない場合でも音質にはほとんど影響はありませんが，微妙に音質が変わることがあります．極性の管理されていない電源コンセントをお使いになる場合にはプラグの差込み方を逆にして音を確かめてみてください．

1本のケーブルでVHFとUHF両方の信号が送られている場合には

U/V混合器を用い，1本のケーブルでVHFとUHF両方の信号が送られている場合には信号を分離するため，分波器が用いられています．このような場合には以下のように接続してください．

分波器からのVHFの出力を本機に接続し，UHF出力はそのままテレビに接続した状態にします．この状態でVHFテレビ放送とディスクの再生を本機のTV SELECT（セレクト）ボタンにより切換えて楽しめます．

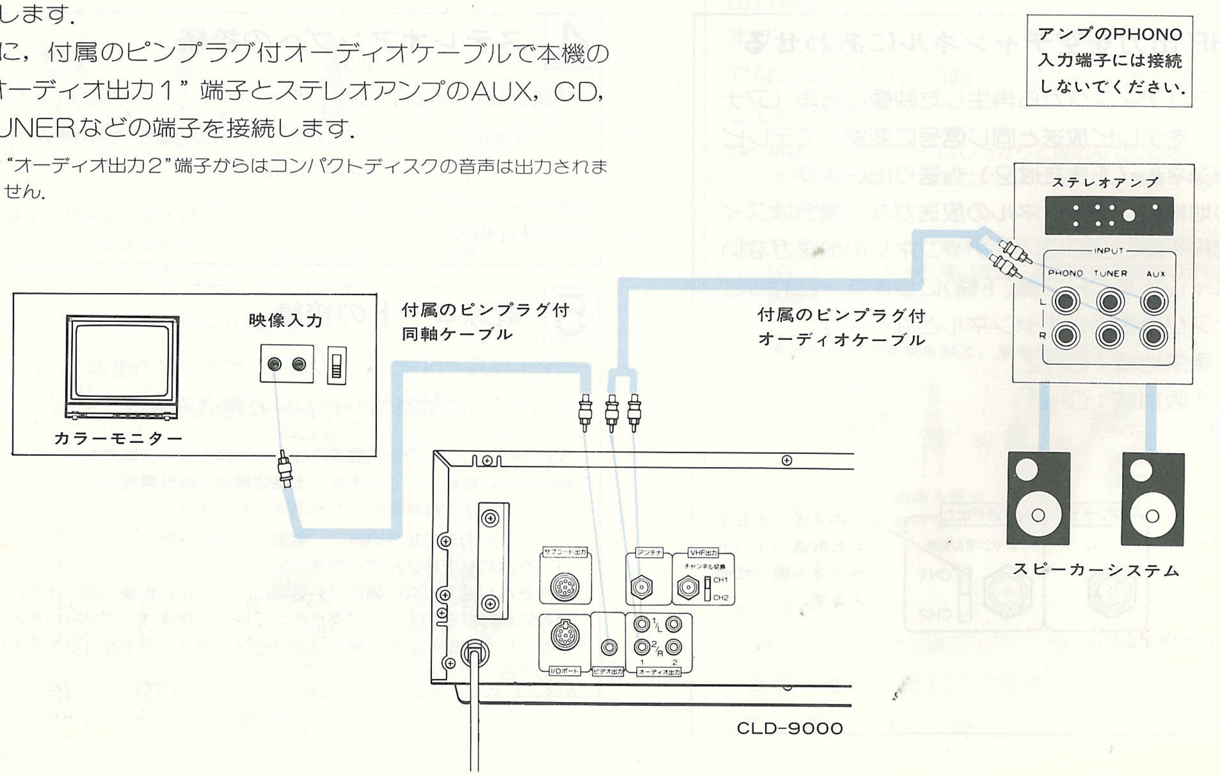


接続例2（CLD-9000＋カラーモニター＋ステレオ）

付属のピンプラグ付同軸ケーブルで，本機の"ビデオ出力"端子とカラーモニター（またはテレビ）の映像入力端子を接続します．

次に，付属のピンプラグ付オーディオケーブルで本機の"オーディオ出力1"端子とステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子を接続します．

☞ "オーディオ出力2"端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません．



接続例3（CLD-9000＋VHFコンバーター内蔵のTVチューナー＋テレビ＋ステレオ（VTR））

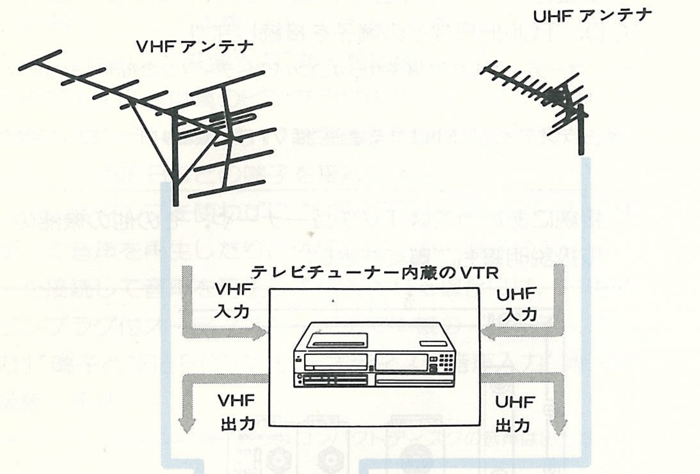
テレビチューナーとテレビの間に本機を接続してください．テレビチューナーのVHF出力を本機のアンテナ端子へ，本機のVHF出力をテレビのVHFアンテナ端子に接続します．

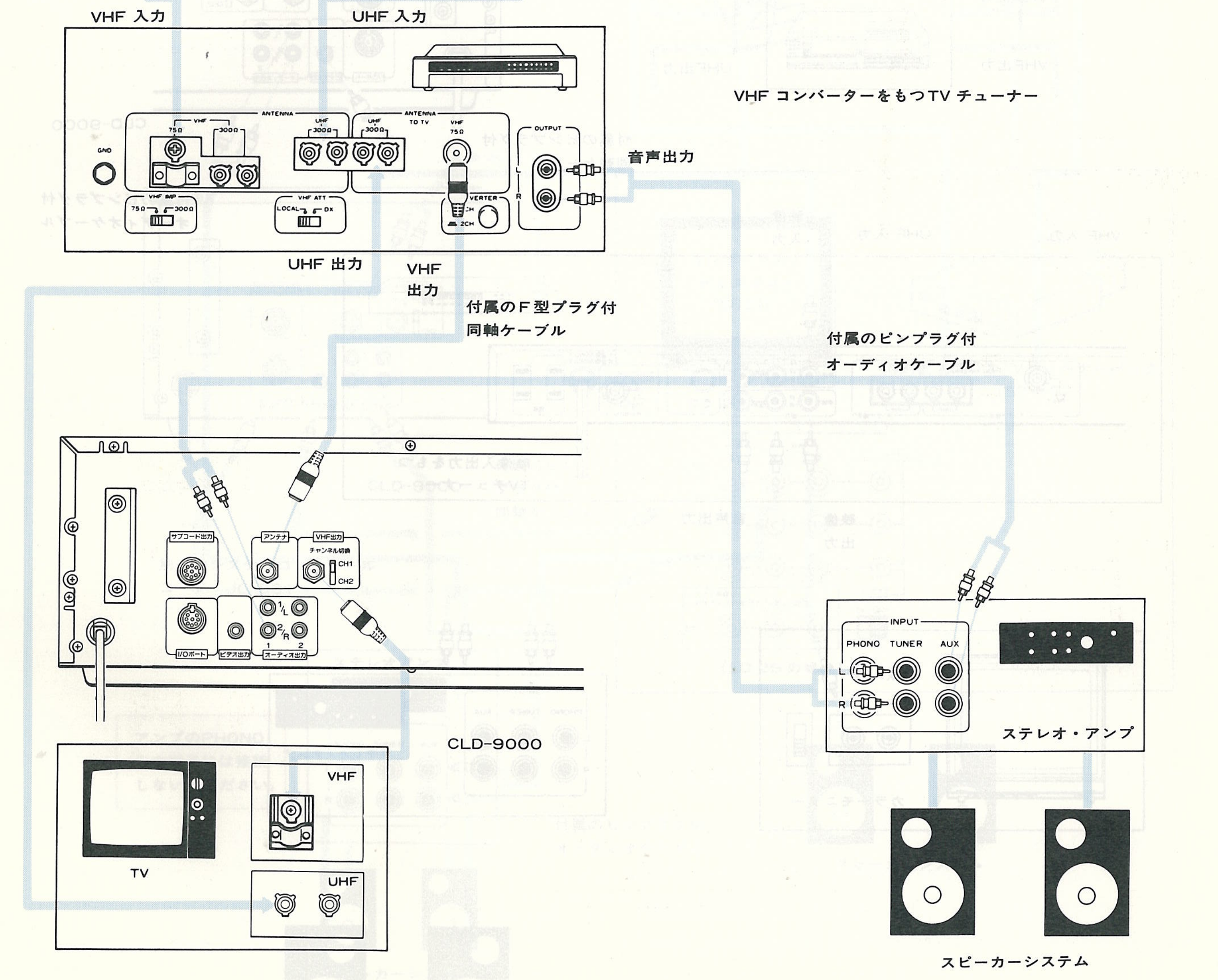
音声の再生には，付属のピンプラグ付オーディオケーブルで本機の"オーディオ出力1"端子とステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子を接続します．

☞ 本機の"VHF出力"端子，"オーディオ出力2"端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません．

テレビチューナーを内蔵するVTRをご使用の場合にも図のように接続することによって一台のテレビでテレビ放送の視聴，VTRのご利用，ビデオディスクの再生を切換えて楽しんでいただけます．

☞ ビデオディスクを再生する場合にはVTRの電源は切っておいてください．





接続例４（CLD-9000＋映像入出力端子をもつTVチューナー＋カラーモニター＋ステレオ（＋VTR））

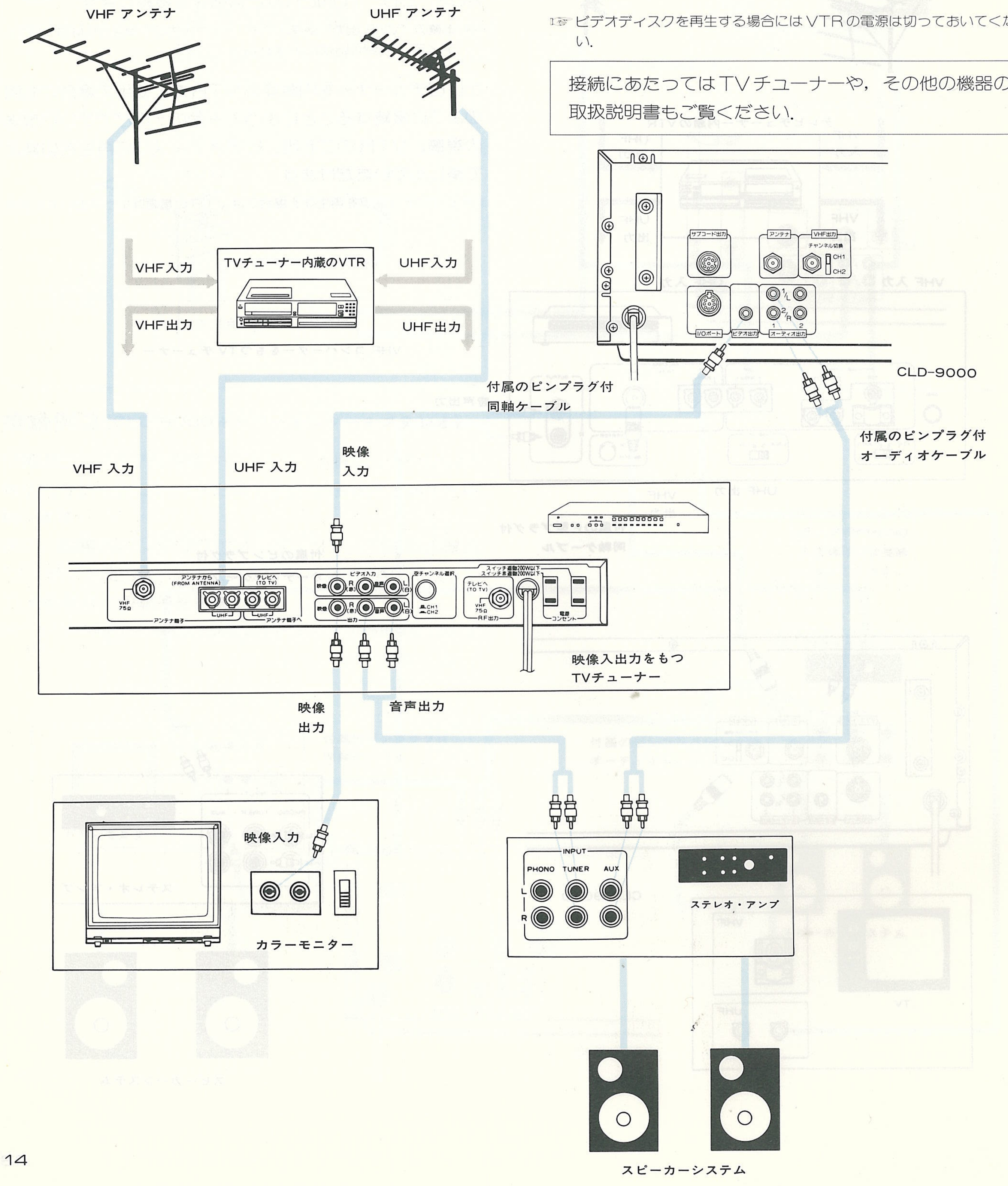
付属のピンプラグ付同軸ケーブルで本機の"ビデオ出力"端子とテレビチューナーの映像入力端子を接続します.

音声の再生には，付属のピンプラグ付オーディオケーブルで本機の"オーディオ出力１"端子とステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子を接続します.

☞"オーディオ出力２"端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません.

☞ビデオディスクを再生する場合にはVTRの電源は切っておいてください.

接続にあたってはTVチューナーや，その他の機器の取扱説明書もご覧ください.



接続例５コンポーネントディスプレイ"SEED（シード）"を使用する場合

パイオニアのコンポーネントディスプレイ"SEED"(SD-26，SD-21)をお使いになる場合には，付属のピンプラグ付同軸ケーブルで本機の"ビデオ出力"端子と"SEED"の"ビデオディスク映像入力"端子を接続します.

音声の再生には付属のピンプラグ付オーディオケーブルで本機の"オーディオ出力１"端子とステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子を接続します.

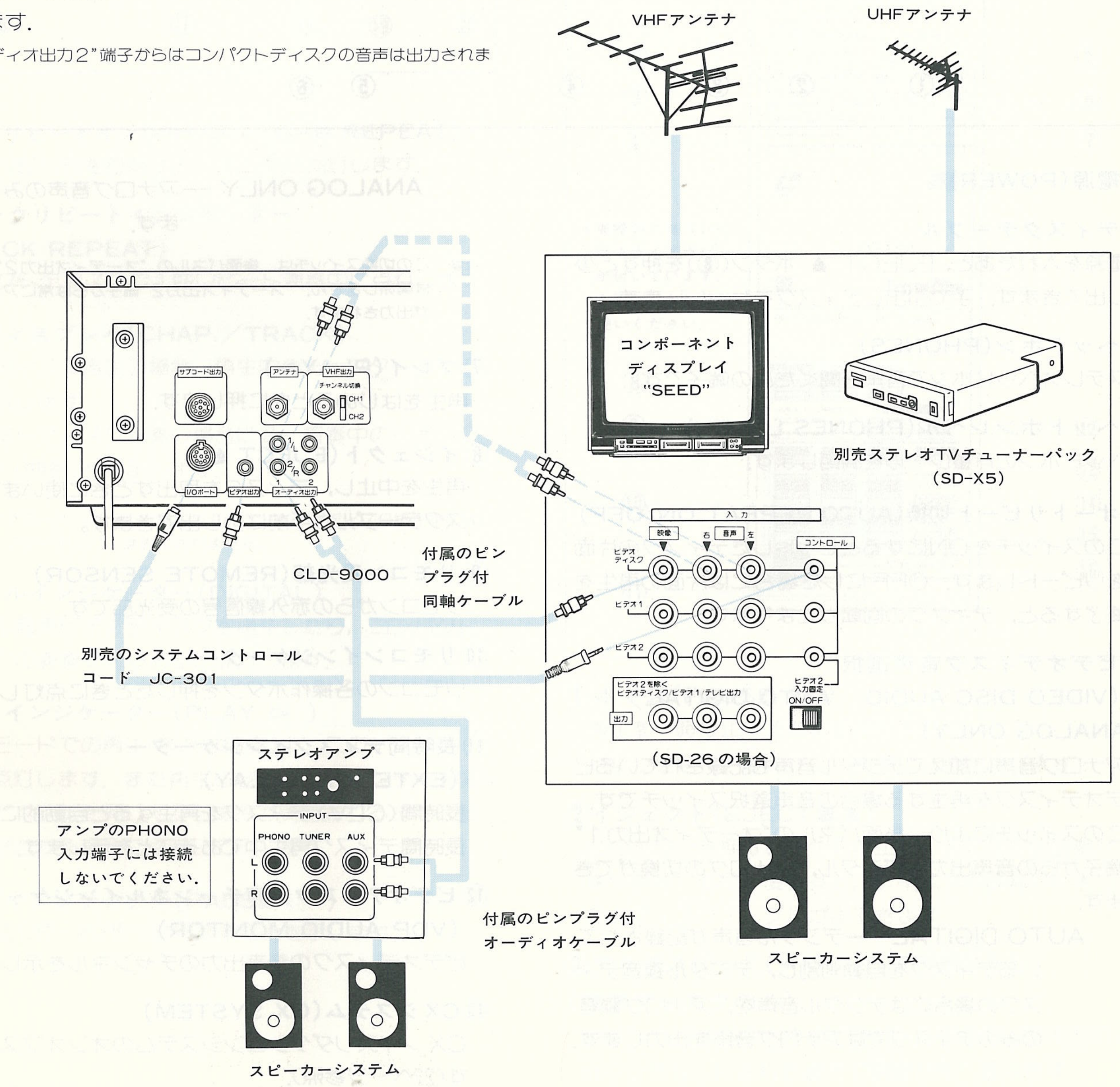
ステレオアンプを使わずに"SEED"の内蔵スピーカーを使って音声を再生したり，外部スピーカー端子にスピーカーを接続して音声を再生しようとされる場合には，付属のピンプラグ付オーディオケーブルで本機の"オーディオ出力１"端子と"SEED"の"ビデオディスク音声入力"端子を接続します.

☞"オーディオ出力２"端子からはコンパクトディスクの音声は出力されません.

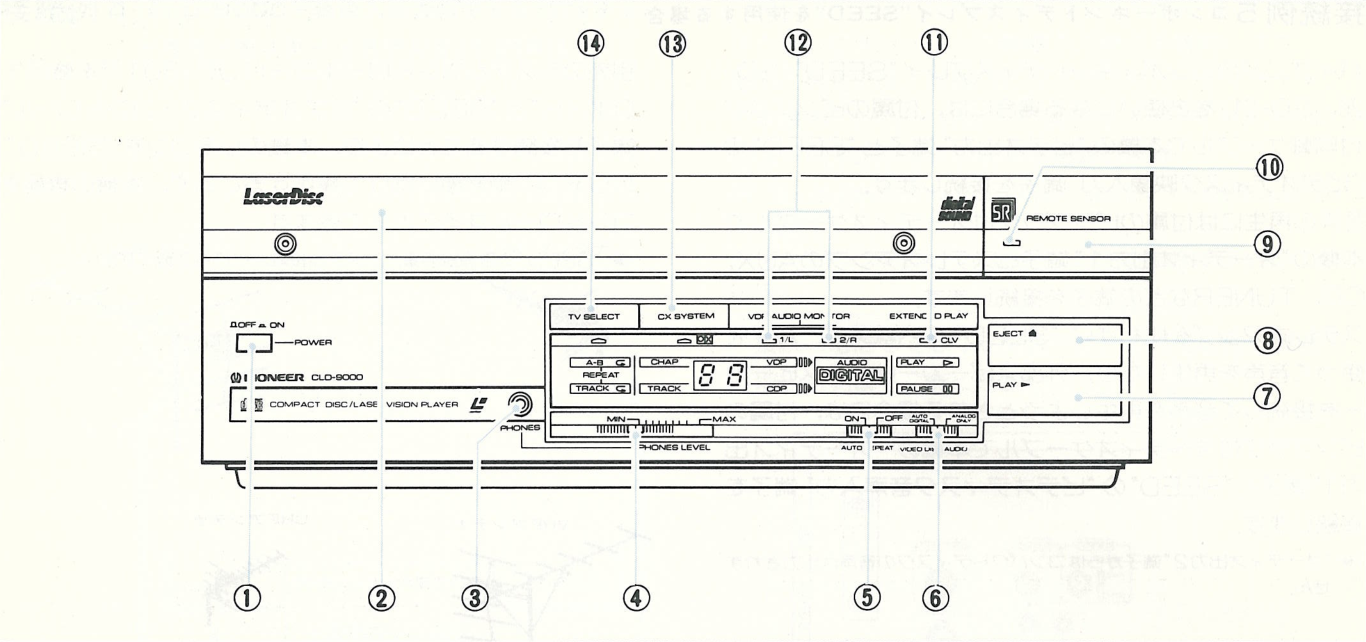
別売のシステムコントロールコードJC-301で本機の"I/Oポート"と"SEED"の"ビデオディスク・コントロール"端子を接続することにより，本機のリモコンを"SEED"のリモコン受光部に向けて操作することで，本機の機能をコントロールすることもできます.

☞"SEED"の取扱説明書，システム接続ガイドもご覧ください.

接続のしかた



各部の名称と使い方



①電源(POWER)

②ディスクテーブル

電源を入れたあと，EJECT(イジェクト) ▲ ボタン(⑧)を押すと少し出てきます．手で引出しディスクをセットします．

③ヘッドホン(PHONES)

ステレオヘッドホンで音声を聞くための端子です．

④ヘッドホンレベル(PHONES LEVEL)

ヘッドホンの音量レベルを調節します．

⑤オートリピート切換(AUTO REPEAT ON/OFF)

このスイッチをON(オン)にするとセットしたディスクの片面をリピートします．OFF(オフ)にした場合には片面の再生を終了すると，ディスクの回転が止まります．

⑥ビデオディスク音声選択
(VIDEO DISC AUDIO　AUTO DIGITAL／ANALOG ONLY)

アナログ音声に加えてデジタル音声も記録されているビデオディスクを再生する場合の音声選択スイッチです．このスイッチにより，後面パネルの"オーディオ出力1"端子からの音声出力のデジタル，アナログの切換ができます．

AUTO DIGITAL ―デジタル音声が記録されているディスクを自動判別し，デジタル録音ディスクの場合にはデジタル音声を，アナログ録音のみのディスクではアナログ音声を出力します．

ANALOG ONLY ―アナログ音声のみを出力します．

☞ この切換スイッチは，後面パネルの"オーディオ出力2"の端子には関係しません．"オーディオ出力2"端子からは常にアナログ音声が出力されます．

⑦プレイ(PLAY►)

再生をはじめるときに押します．

⑧イジェクト(EJECT▲)

再生を中止し，ディスクを取出すときに使います。ディスクテーブルが手前に少し出てきます。

⑨リモコン受光部(REMOTE SENSOR)

リモコンからの赤外線信号の受光部です．

⑩リモコンインジケーター

リモコンの各操作ボタンを押したときに点灯します．

⑪長時間ディスクインジケーター
(EXTENDED PLAY)

長時間(CLV)ディスクを再生すると自動的に点灯し，長時間ディスク再生中であることを示します．

⑫ビデオディスク音声チャンネルインジケーター
(VDP AUDIO MONITOR)

ビデオディスクの音声出力のチャンネルを示します．

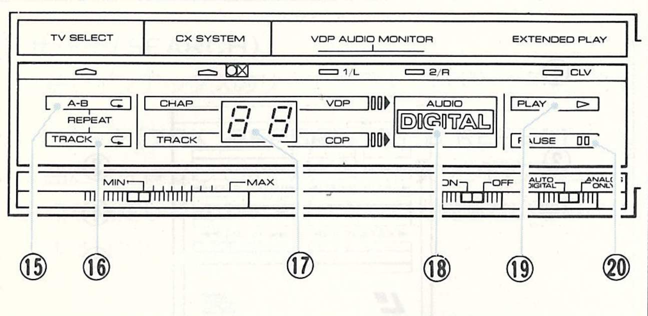
⑬CXシステム(CX SYSTEM)

CXノイズリダクションシステムのオンオフスイッチです(22ページ参照)．

⑭テレビセレクト(TV SELECT)

ビデオディスクの再生とVHFテレビ放送の受信とを切換えるスイッチです．インジケーターが消えている時はビデオディスクの再生，点灯している時はTV放送の受信です．

〔インジケーター部〕



⑮２点間リピートインジケーター(A―B REPEAT)

２点間リピートを行なっているときに点灯します．

⑯トラックリピートインジケーター
(TRACK REPEAT)

コンパクトディスクで１曲リピート演奏中に点灯します．

⑰数字ディスプレイ(CHAP.／TRACK)

ビデオディスク再生の場合，再生中のチャプターナンバーを表示します．

コンパクトディスク演奏の場合には，演奏中のトラックナンバー(曲番)を表示します．

☞ チャプターナンバーの記録されていないビデオディスク再生中には，チャプターナンバーは表示されません．

⑱デジタルインジケーター(DIGITAL)

デジタル音声ビデオディスクを再生したり，コンパクトディスクの演奏をはじめると点灯します．

⑲プレイインジケーター(PLAY ▷)

プレイモードでの再生(または演奏)中，このインジケーターが点灯します．また再生(演奏)の開始時やサーチ実行中などボタンを押してから命令が実行されるまでに多少時間がかかる場合に点滅して示します．

⑳ポーズインジケーター(PAUSE ▯▯)

一時停止(ポーズ)モードであることを示します．

リモコンのボタンの名称と使いかた

付属のリモコンユニットは，ビデオディスク，コンパクトディスク両方の再生中に使用できます．

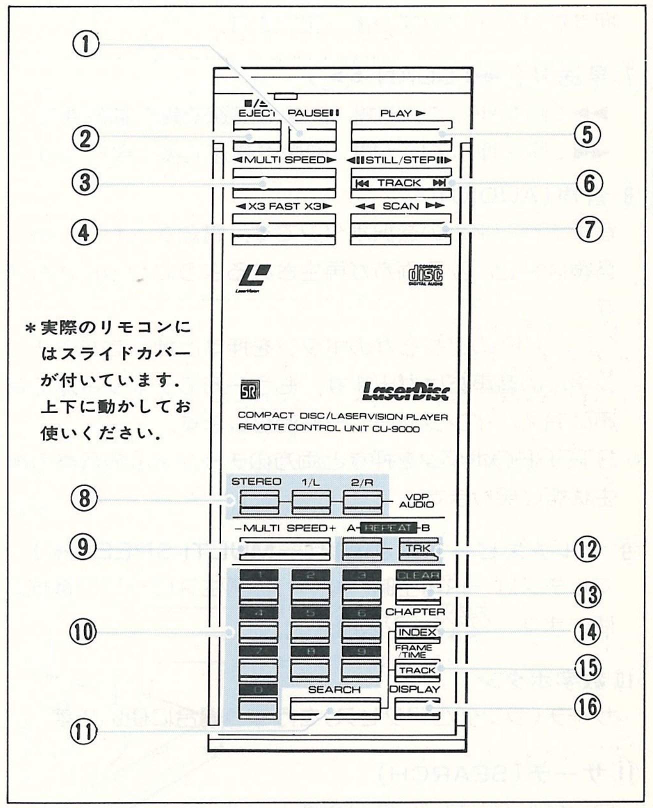
操作ボタンによっては，ビデオディスク再生時とコンパクトディスク演奏時に同じボタンで機能が異なるものがあるため，表示文字を色分けしています．

ブルー………ビデオディスク再生時専用の機能．

グリーン……コンパクトディスク演奏時専用の機能．

それ以外の色で表示されたボタンは共通に使えます．

〔ビデオディスク再生時〕



＊実際のリモコンにはスライドカバーが付いています．上下に動かしてお使いください．

①ポーズ(PAUSE ▮▮)

再生を一時停止するためのボタンです．

ボタンをもう一度押すと一時停止は解除されます．

②イジェクト(EJECT ■/▲)

このボタンを押すと再生を中止し，ディスクの回転がとまります．もう一度押すと，ディスクの回転がとまったあとディスクテーブルが出てきます．

③マルチスピード(◄MULTI-SPEED►)
(標準ディスクのみ)

ボタンの右端(►)を押すと⑨の−MULTI-SPEED+ボタンでセットされた速さで映像が先へ進みます．

左端(◄)を押すと後へ戻ります．(27ページ参照)

④３倍速(◄×３ FAST ×３►)
(標準ディスクのみ)
ボタンの右端(×３►)を押している間，映像はプレイモードの３倍の速さで先へ進み，左端(◄×３)を押している間は，３倍の速さで後へ戻ります．

⑤プレイ(PLAY►)
再生をはじめるときに押します．

⑥静止／コマ送り(◄IISTILL／STEPII►)
(標準ディスクのみ)
左右どちらかの端を押すと映像が静止します．その後，右端(II►)を押すたびに１コマずつ先へ進み，左端(◄II)を押すたびに１コマずつ後へ戻ります．

⑦早送り(◄◄ SCAN ►►)
►►：側を押している間，映像が高速で先へ進みます．
◄◄：側を押している間，映像が高速で後へ戻ります．

⑧音声(AUDIO)
音声チャンネルの選択ボタンです．電源を入れたとき，音声は1/L，2/R両方が再生されるようにセットされます．
1/L，2/Rのどちらかのボタンを押すと押した方のチャンネルの音声だけが出ます．もう一方のチャンネルの音声は消え，インジケーターも消灯します．
STEREO(ステレオ)ボタンを押すと両方のチャンネルの音声の再生状態に戻ります．

⑨マルチスピード速さ選択(－MULTI-SPEED＋)
マルチスピード再生時(◄，►)の再生スピードの選択に使います．(27ページ参照)

⑩数字ボタン
サーチ(ランダムアクセス)を行なう場合に使います．

⑪サーチ(SEARCH)
ランダムアクセスに使います．

⑫リピート(REPEAT)
ディスクプログラム中の任意の２点間を繰返して再生する場合に使います．(28ページ参照)

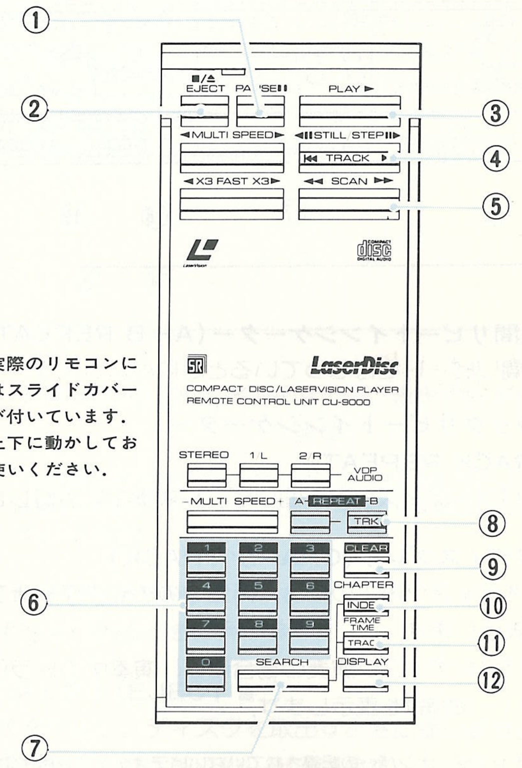
⑬クリアー(CLEAR)
サーチを行なう場合のナンバー訂正，サーチモードの解除，２点間リピートモードの解除に使います．

⑭チャプター(CHAPTER)
チャプターナンバーによるサーチを行なう場合に使います．

⑮フレーム／タイム(FRAME／TIME)
フレームナンバー(長時間ディスクではタイムナンバー)によるサーチを行なう場合に使います．

⑯ディスプレイ(DISPLAY)
画面にチャプターナンバーとフレームナンバー（長時間ディスクではタイムナンバー）を表示，消去するのに使います．

〔コンパクトディスク演奏時〕



＊実際のリモコンにはスライドカバーが付いています．上下に動かしてお使いください．

①ポーズ(PAUSE II)
演奏を一時停止するのに使います．

②イジェクト(EJECT ■/▲)
このボタンを押すと演奏を中止し，ディスクの回転がとまります．もう一度押すと，ディスクの回転がとまったあとディスクテーブルが出てきます．

③プレイ(PLAY►)
演奏の開始，ポーズの解除に使います．

④トラック(I◄◄ TRACK ►►I)
聞きたい曲の頭出しに使います．
►►I：演奏中の曲の次の曲の頭へ飛びます．
I◄◄：演奏中の曲の頭へ飛びます．
続けて押せば，次々と曲を飛び越して頭出しをできます．

⑤早送り(◄◄ SCAN ►►)
►►側を押している間，先へ早送りします．
◄◄側を押している間，後へ早送りします．
早送りの音が小さく出ます．

⑥数字ボタン
聞きたい曲の番号や，演奏曲中のインデックス番号を指定してサーチする場合の数字の指定に使います．

⑦サーチ(SEARCH)
曲番やインデックスのサーチを行なう実行命令ボタンです．

⑧リピート(TRK. REPEAT，A—B REPEAT)
１曲だけを繰返して聞いたり，ディスクプログラム中の２点を指定してその間だけを繰返して聞きたい場合に使います．(33ページ参照)

⑨クリアー(CLEAR)
１曲および２点間リピート演奏の解除，サーチを行なう場合のナンバー訂正やサーチモードの解除に使います．

⑩インデックス＊(INDEX)
演奏中の曲のなかでインデックス番号によるサーチを行なう場合に使います．

⑪トラック(TRACK)
曲番によるサーチを行なう場合に使います．

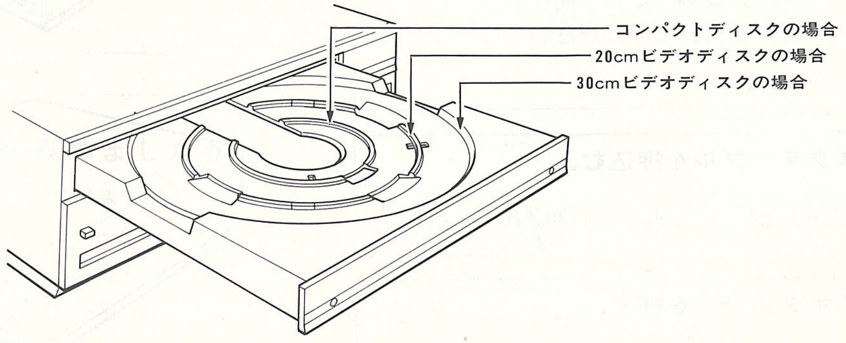
⑫ディスプレイ(DISPLAY)
コンパクトディスク演奏時にテレビ画面上に表示される情報を切換えるボタンです．

＊INDEXとは曲の中にあらかじめ記録されている，１つの曲の中での音楽の区切りを示す信号です．INDEXの信号が記録されているディスクは解説書に IN:DEX の表示が付いています．

基本操作

ディスクテーブルの形状について

本機で再生できるディスクは，直径30cmのビデオディスク，直径20cmのビデオディスク，コンパクトディスク（直径12cm）の３種類です．
それぞれのディスクを使用する場合に，ディスクのセットが容易にできるようディスクの大きさに合わせたガイドの付いた形状にしてあります．
図に示したガイドの内側にディスクを合わせるようにして確実にセットしてください．



再生をはじめる前に

コンパクトディスクでは，パルス符号変調(PCM)されたオーディオ信号を再生します．また，ビデオディスクにも，デジタル音声の記録されたものがあります．PCMの特長としてダイナミックレンジが非常に広くなっています．デジタル音声ディスク再生時には，過大入力によりスピーカー等を壊さないよう音量調節に十分お気をつけください．

再生をはじめる

輸送用ネジをゆるめましたか？（４ページ参照）

1 テレビの電源を入れ，空チャンネルにセットする．

（カラーモニター，ステレオを使用する場合にはそれぞれの電源もオンにします．）

☞ コンパクトディスクをかける場合に，演奏情報をテレビ（またはカラーモニター）の画面に表示する必要のない場合には，ステレオアンプの電源だけ入れてください．

2 プレーヤーの電源を入れる．

■音声インジケーター（VDP AUDIO MONITOR）が点灯し，数字ディスプレイは 0 が表示されます．

3 EJECTボタン（▲）を押す．

■ディスクテーブルが少し出てきます．

4 ディスクテーブルを引出す．

■中央部付近を持ち，ゆっくりと引出してください．

5 ディスクをセットする．

■ビデオディスク，コンパクトディスクとも再生したい面のレーベルが上になるようにセットしてください．

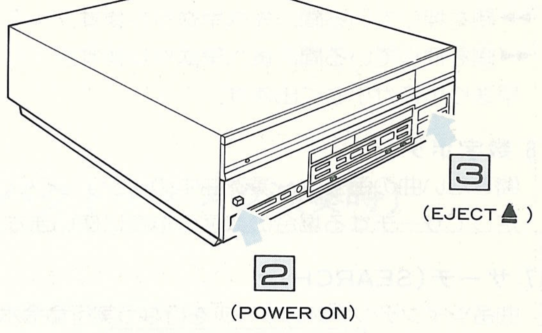
■ディスクの表面に指紋や汚れが付いていると，画質，音質が低下します．装着のとき下側になる面をクリーニングしてからセットしてください．（6ページ参照）

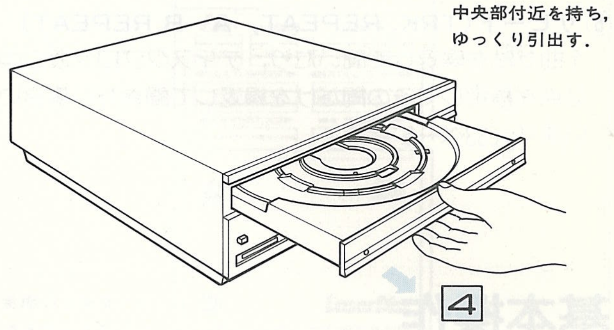
6 ディスクテーブルを押込む．

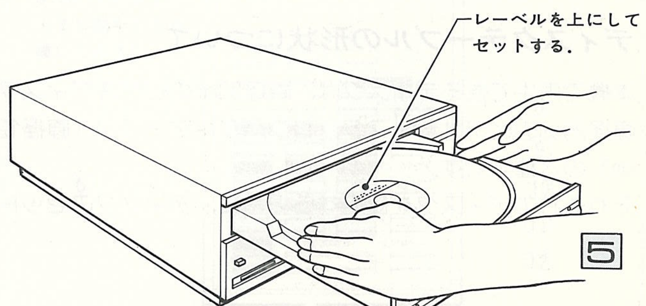
■カチッとロックされるまでゆっくり押込んでください．

7 PLAYボタン（►）を押す．

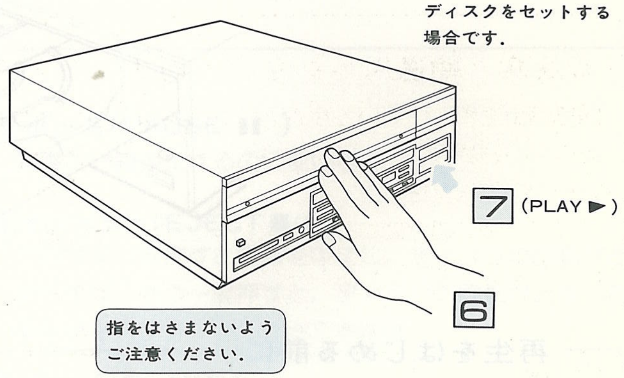
■PLAYインジケーターが点滅します．ディスクが規定回転数に達すると，再生（または演奏）がはじまり，PLAYインジケーターは点灯状態になります．前面パネルの数字ディスプレイにより，ビデオディスクではCHAPTERナンバーが，コンパクトディスクではTRACKナンバー（曲番）が表示されます．







＊イラストは30cmビデオディスクをセットする場合です．



テレビの同調がズレているときれいな映像が得られません．テレビのファインチューニングを正確に行なってください．特に本機を初めてご使用になる時，テレビを交換した場合には必ず行なってください．（21ページ"テレビの空チャンネルとその調整"参照）

テレビの空チャンネルとその調整

（詳しくはご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください）

ディスクの再生に使用する空チャンネルと，プレーヤーの後面パネルのチャンネル切換スイッチのチャンネルが同じチャンネルになっていることをお確かめください．

ボタン選局式テレビの場合

1 1または2チャンネル表示のうち使用していない選局ボタン（空チャンネル）を押します．

2 ビデオディスクの再生を始めます．（PLAYインジケーターが点灯していることを確認してください）

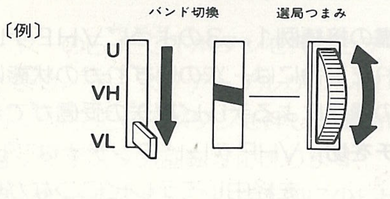
3 "1"で選んだ選局ボタンに対応する選局つまみ（プリセットチューニングつまみ）でプリセットチューニングします．

☞ ボタン選局式のテレビでは空チャンネルを受信しないように調整されている場合がありますが，その場合には適当と思われる選局ボタンを選んで次のように調整し直します．

■バンド切換スイッチをVHF1～3ch，VLなどの表示部に切換える．

■ビデオディスクの再生を始める．

■選局つまみで映像が鮮明に再生されるよう調整する．



（ボタン選局式テレビの場合）

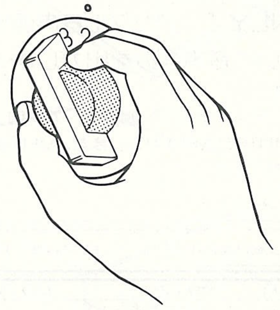
ロータリーチャンネル式テレビの場合

1 テレビのチャンネルを空チャンネル（1または2）に切換えます．

2 ビデオディスクの再生を始めます．（PLAYインジケーターが点灯していることを確認してください）

3 ファインチューニング（微調整）を行ないます．

■内側の丸いつまみを押しながら回し，映像が鮮明に再生されるように調整します．



（ロータリーチャンネル式テレビの場合）

ご注意：輸送用ネジをゆるめましたか？

内部機構を固定している輸送用ネジが締まったままであったり，ゆるめかたが不完全ですと，プレーヤーは動作しません．ディスクを正しくセットしているにもかかわらず再生ができない場合には，輸送用ネジが完全にゆるめられているかどうかを確認してください．

ご注意

4ページ"輸送用ネジについて"で示したネジ（A）をゆるめていない場合にコンパクトディスクをセットすると，約12秒後に"VDP"インジケーターが点滅を開始します．
その場合，EJECTボタンによってディスクを取り出して下さい．ディスクを入れたままプレーヤーを傾けるとディスクを傷つける恐れがあります．

ディスクをセットしている場合

↓

［EJECTボタン（▲）を押す．（コンパクトディスクの場合には，左下の"ご注意"もお読みください．）］

↓

［ディスクを取出して，ディスクテーブルをプレーヤー内へ押込む．］

↓

ディスクをセットしていない場合

↓

〔電源スイッチを切り，電源プラグをコンセントから抜く．〕

↓

〔後面パネルの接続プラグをはずす．〕

↓

〔4ページを参照して輸送用ネジを完全にゆるめる．〕

デジタル音声ビデオディスクの自動判別について

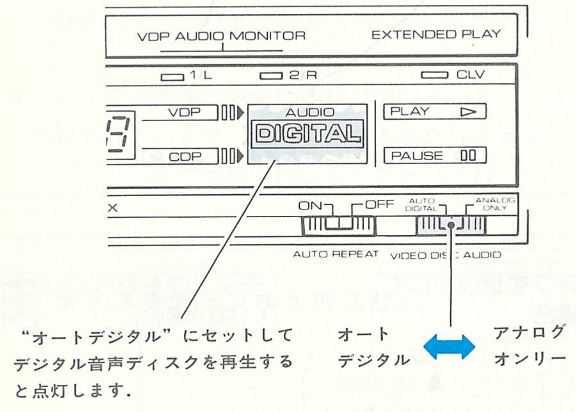
ビデオディスクのなかには，従来のアナログ音声に加えてデジタル音声の記録されているものがあります.（3ページ参照）

本機では，そのようなディスクを再生した場合に，ディスクの判別をし，後面パネルの“オーディオ出力1”端子の出力をデジタル音声に自動的に切換える機能を備えています．前面パネルの VIDEO DISC AUDIO スイッチで選択してください．

AUTO DIGITAL ―アナログ音声のみ記録されたディスクではアナログ音声を，デジタル音声も記録されたディスクではデジタル音声を“オーディオ出力1”端子より出力します．
デジタル音声の出力になると，DIGITAL インジケーターが点灯します．

ANALOG ONLY ―デジタル音声信号の有無にかかわらずアナログ音声のみを出力します．

☞ 後面パネルの“オーディオ出力2”端子は，アナログ音声のみを出力します．デジタル音声は出力されません．また，VHF出力の音声はアナログ音声にもとづいています．



コンパクトディスク演奏時には

コンパクトディスクを演奏すると，DIGITAL インジケーターが点灯し，音声は“オーディオ出力1”端子から出力されます．

☞ コンパクトディスクの音声は“オーディオ出力2”，“VHF出力”の端子からは出ません．

CX ノイズリダクションシステム

〔ビデオディスク再生時のみ〕

CX マークのついたビデオディスクを再生する場合，前面パネルのCX SYSTEM ボタンを押しインジケーターを点灯させてください．CX ノイズリダクションシステムのデコーダーが作動し，S/N比の向上，ダイナミックレンジの拡大が可能です．

CXシステムを切るには，もう一度CX SYSTEMボタンを押します．

また，再生を終了したり，中止した場合にもCXシステムはオフ状態となります．

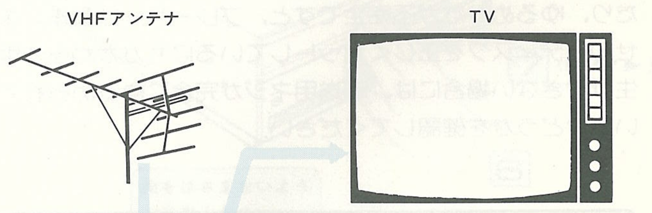
CX マークの付いていないビデオディスクを再生する場合には，CX システムをオフ（CX インジケーター消灯）にしてください．

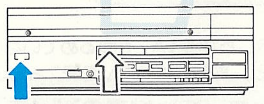
☞ ディスクのなかには，CX システムを自動的にオン・オフさせる特別なコードが記録されたものもあります．そのようなディスクを再生するとプレーヤーがコードを読取り，自動的にCXシステムのオン・オフが行なわれ，プレーヤーのCX SYSTEM ボタンではオン・オフできなくなります．再生中にCXボタンを押してもオン・オフできない場合がありますが，これはCXの自動切換が動作しているためで，故障ではありません．

テレビ放送を見るには

この取扱説明書の接続例1，3のようにVHFテレビアンテナを接続された場合には，次のいずれかの状態にすることにより通常の操作によるテレビ放送の受信ができます．

- 電源スイッチを切る：VHF テレビアンテナはプレーヤーを経由してテレビにつながります．
- TV SELECT インジケーターを点灯させる：前面パネルの TV SELECT ボタンを押します．インジケーターが点灯し，VHF テレビアンテナはプレーヤーを経由してテレビにつながります．





電源スイッチを切るか，TV SELECT ボタンを押してインジケーターを点灯させる．

☞ テレビ放送の電波が弱い地域では，本機の電源を入れた状態で TV SELECT ボタンでテレビ放送の受信に切換えると画面に斜めのしま模様の入ることがありますが故障ではありません．
上記のようなとき，または長時間テレビ放送をご覧になる場合には本機の電源を切ってテレビ放送をご覧ください．

オートリピートの選択

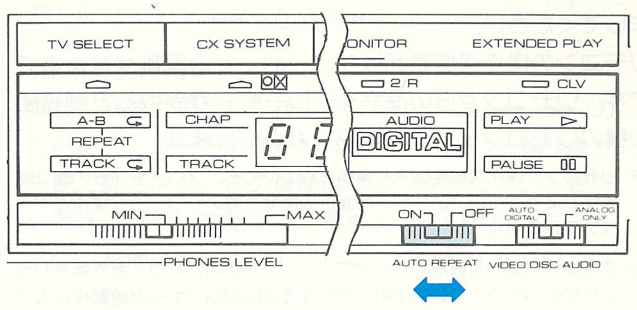
〔ビデオディスク・コンパクトディスク〕

前面パネルのAUTO REPEATスイッチにより，ディスク片面が終わったあとのプレーヤーの動作を選べます．

ON ： プレイモードで片面を終わると，ディスクの初めに戻って繰返し再生を続けます．

OFF： 片面の終わりまでゆくと，再生をやめディスクの回転が止まります．

通常の使用ではOFFにセットしてください．



再生をやめる

本機ではディスクの片面を最後まで再生したあとの動作を，あらかじめ前面パネルのAUTO REPEATスイッチで指定しておくことができます．（上段“オートリピートの選択”参照）

途中で再生をやめる場合には次の手順で行なってください．

1 プレーヤーのEJECTボタン（▲）か，リモコンのEJECTボタン（■/▲）を押す．

- プレーヤーのEJECTボタンを押すとディスクの回転が止まり，ディスクテーブルが少し出てきます．
- リモコンのEJECTボタンを押した場合には，
  1回目：ディスクの回転が止まります．
  2回目：ディスクテーブルが手前に少し出てきます．

2 ディスクテーブルを引出す．

- 中央部付近を持ち，ゆっくりと引出してください．

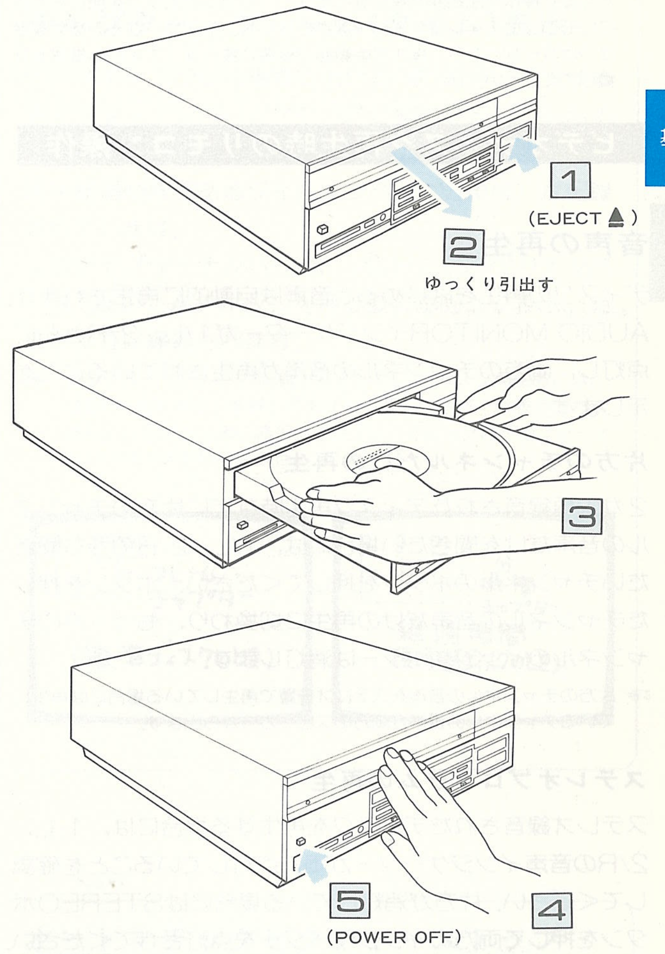
3 ディスクを取出す．

- 使い終ったディスクは必ず取出し，ジャケットまたはケースに入れ，垂直に保管してください．

4 ディスクテーブルを押込む．

- プレーヤーの内部にある対物レンズにゴミやホコリが付かないようにするため，ディスクテーブルは必ず押込んでおいてください．

5 電源を切る．



ディスクテーブルを引出した状態で上から強く押さえたり，ディスク以外のもの（特に重いもの）をのせたりしないでください．引出された状態のディスクテーブルに上下方向の強い力が加わると故障の原因になります．場合によっては設置された場所からプレーヤーが落ちる可能性もあり，危険です．プレーヤーを使わないときにはディスクテーブルはプレーヤー内へ必ず押込んでおいてください．

リモコン操作

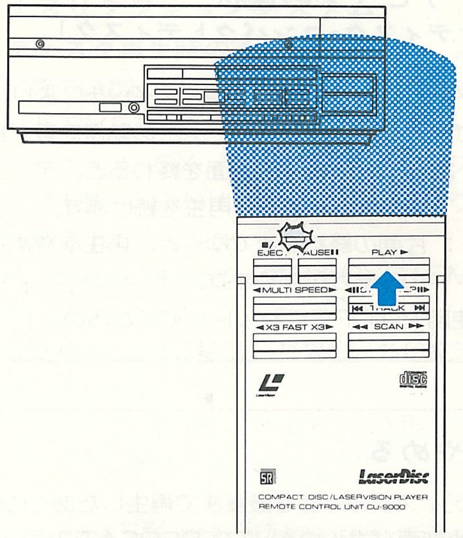
リモコン前部をプレーヤー前面パネルの受光部に向けて操作してください.

リモコンの操作可能範囲はプレーヤーとの距離が数mまでです. リモコンからの命令をプレーヤーが受取ると受光部の横のリモコンインジケーターが点灯します.

☞ リモコンが操作可能範囲内で操作されていても, プレーヤーとの間に障害物があったり, プレーヤー前面との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります.

☞ 赤外線を発射する機器の近くでプレーヤーを使用したり, 赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると, プレーヤーが誤動作することがあります. 逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると, その機器を誤動作させることがあります.

☞ リモコンの電池の寿命は使用状況によって大幅に異なりますが, 消耗してくると操作可能範囲が狭くなります. リモコンのボタンを押したときにリモコン上のインジケーターが点灯してもプレーヤーがその命令を受けつけなくなったり, 操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください.



ビデオディスク再生時のリモコン操作

音声の再生

ディスクの再生をはじめると音声は自動的に再生されます. AUDIO MONITORインジケーターが1/L, 2/Rともに点灯し, 両方のチャンネルの音声が再生されていることを示します.

片方のチャンネルだけの再生

2か国語録音されたディスク再生時などに片方のチャンネルの音声だけを聞きたい場合には, 1/L, 2/Rのうち聞きたいチャンネルのボタンを押してください. ボタンを押したチャンネルの音声だけの再生に切換わり, もう一方のチャンネルのインジケーターは消灯します.

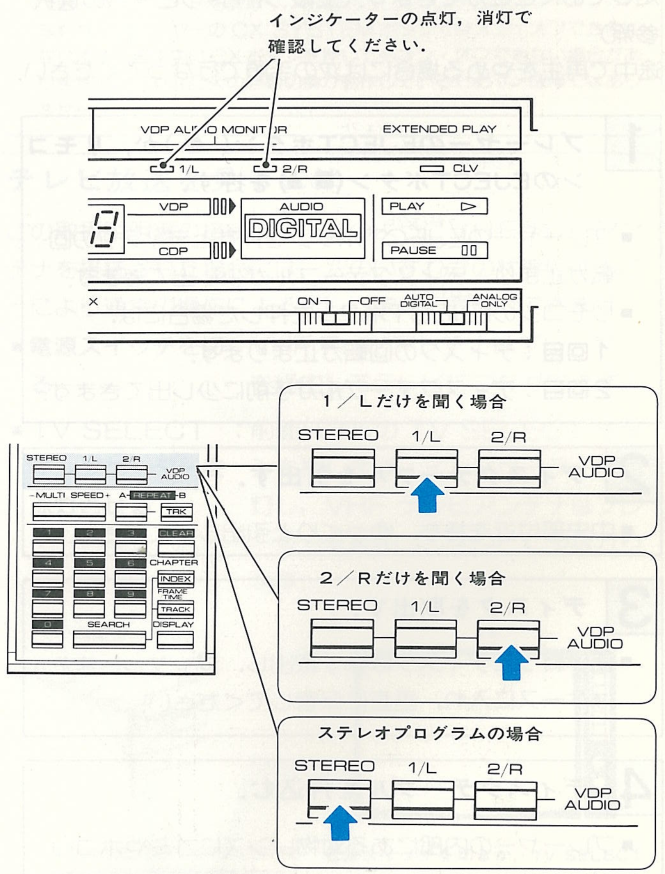
☞ 片方のチャンネルの音声をステレオ装置で再生している場合には再生しているチャンネルの音声が両方のスピーカーから出ます.

ステレオプログラムの再生

ステレオ録音されたディスクを再生する場合には, 1/L, 2/Rの音声インジケーターが両方点灯していることを確認してください. 片方が消灯している場合にはSTEREOボタンを押して両方のインジケーターを点灯させてください.

☞ テレビで音声を再生する場合にはステレオ録音されたディスクでもステレオ再生はできません.

☞ 音声はプレイモード時だけ再生されます. 静止, 早送り, 3倍速, マルチスピードの再生モード時には音声は出力されません.



ご注意

- 長い間(1ヵ月以上)リモコンを使用しないときは, 電池の液もれを防ぐために電池を取出してください. もし液もれを起こしたときは, ケース内についた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください.
- リモコンの上に本などを置かないでください. ボタンが押され続け電池が消耗してしまうことがあります.

一時停止——PAUSE ❚❚

(標準・長時間ディスク)

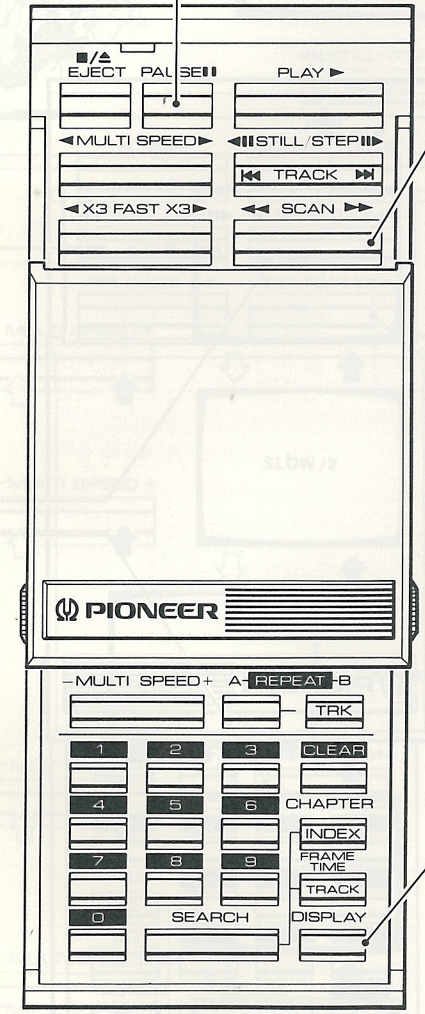
PAUSEボタンを押すと映像と音声が消え, PAUSEインジケーター(❚❚)が点灯し一時停止モードであることを示します.

一時停止を解除するにはPAUSE, PLAY, SCANボタンのいずれかを押してください.(標準ディスク再生時には, STILL／STEP, FAST, MULTI-SPEEDの各ボタンによっても解除できます.)

早送り——◀◀SCAN▶▶

(標準・長時間ディスク)

画面に映像が現われた後, SCANボタン(◀◀, ▶▶)の左右どちらか一方の端を押すと, 押している間映像が高速で動きます. この機能はボタンを押している間だけ働き, ボタンを離すと, 標準ディスクでは SCANボタンを押す前の再生モードに, 長時間ディスクではプレイモードになります.

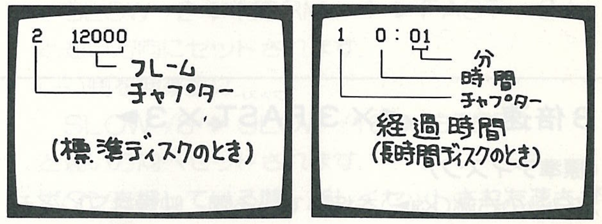


チャプター・フレーム(タイム)表示

ビデオディスクには書物における"章"番号に相当するチャプターナンバーと"ページ"に相当するフレームナンバー(長時間ディスクではプログラムの始めからの再生経過時間であるタイムナンバー:分単位)が記録されています.

このチャプターナンバーと, フレーム(タイム)ナンバーは DISPLAY ボタンを押す度に画面上で表示, 消去が交互に繰返されます.

☞ チャプターナンバーが記録されていないディスク再生時には, DISPLAY ボタンを押してもチャプターナンバーは表示されません. したがって後に述べるチャプターストップ, チャプターナンバーサーチも行なえません.



オートマチックピクチャーストップ

ディスクのなかには, ピクチャーストップコードという特別の信号を記録したものがあります. こうしたディスクを再生している場合にはピクチャーストップコードで指定されているフレーム(画像)までプレイもしくはマルチスピードのNORMおよびSLOW, STEPの速さで再生してゆくと自動的に静止画再生となります. 画像を先に進めたり, 戻す場合にはプレイボタンかマルチスピードボタンを押してください.

チャプターストップ

チャプターナンバーが記録されているディスクを再生している場合には，再生中のチャプターの始めへ戻したり，次のチャプターの始めまで飛ばしたりすることができます．この機能をチャプターストップといい；

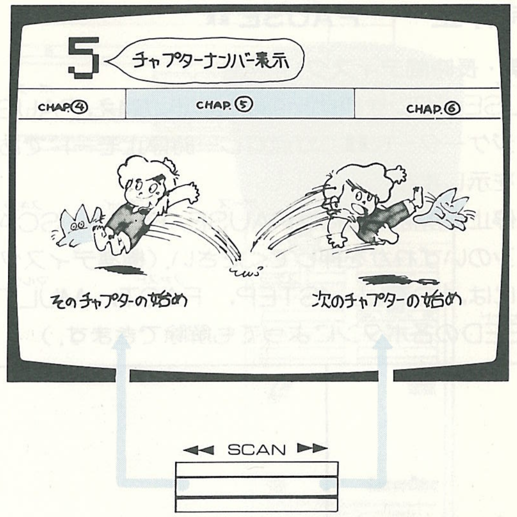
1 チャプターナンバーを表示した状態で
2 SCANボタン(◀◀，▶▶)を押し続ける

ことで行ないます．

チャプターの始めまで行くと，標準ディスクでは自動的にSCANボタンを押す前の再生モードに戻り，長時間ディスクではプレイモードになります．

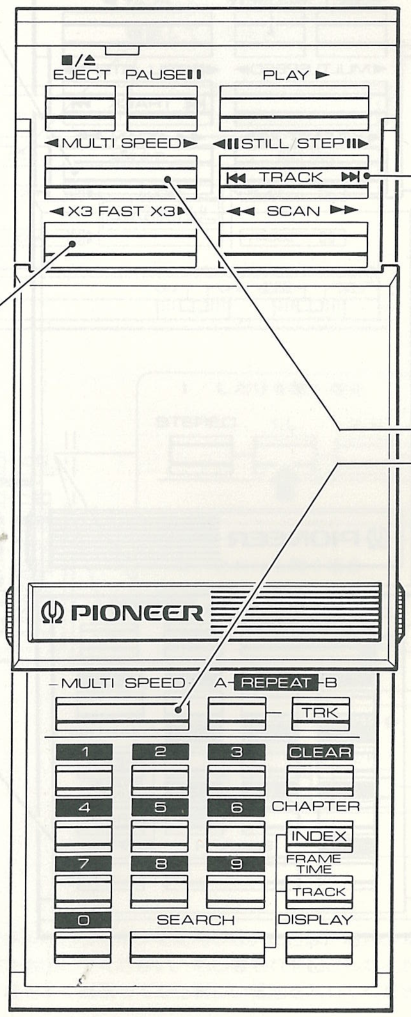
☞ チャプターストップが起こった後は，SCANボタンを押し続けていても連続して早送りはできません．続けてチャプターを飛ばしたいときは一度SCANボタンを離してから押しなおしてください．

＊ 学習用ディスクなどの特別なディスクでは，チャプターストップが機能しないようになっているものもあります．ディスクジャケットの注意をご覧ください．



トリックプレイ

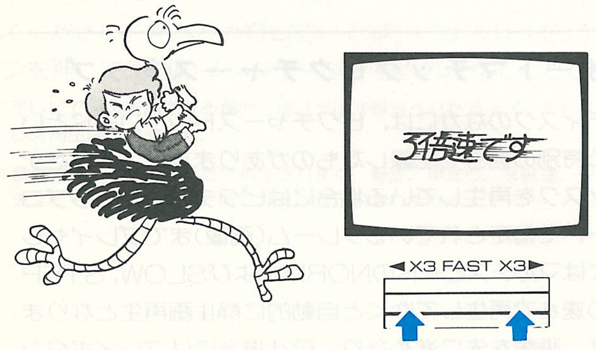
＊以下に述べるトリックプレイは標準ディスク再生時に画面に映像が現われた後に可能です．ただし，トリックプレイ中には音声は再生されません．



３倍速 ◀×３ FAST ×３▶

（標準ディスク）

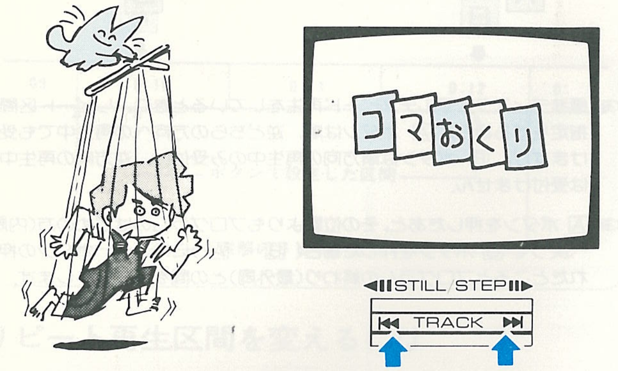
ボタンの右端(×3▶)を押している間，映像はプレイモード時の３倍の速さで先へ進みます．左端(◀×3)を押している間，３倍の速さで後へ戻ります．

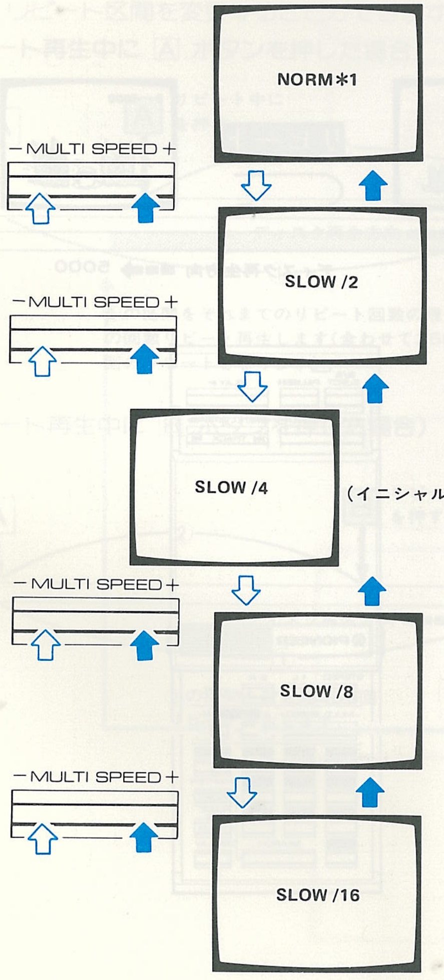


静止／コマ送り ― ◀II STILL／STEP II▶

（標準ディスク）

ボタンの左右どちらかの一方の端(◀II，II▶)を押すと映像が静止します．その後，右端(II▶)を押すたびに１コマずつ先へ進み，左端(◀II)を押すたびに１コマずつ後へ戻ります．





マルチスピード ― ◀MULTI-SPEED▶

（標準ディスク）

プレイモード時の３倍から，１コマを３秒間ずつまでの速さを段階的に選択し，好みの速さでの再生を楽しめます．

◀MULTI-SPEED▶ ボタンの右端を押すと映像は先へ進み，左端を押すと後へ戻ります．速さの選択は－MULTI-SPEED＋ボタンにより，次の９段階より選ぶことができます．

FAST	＊3	（プレイモードの3倍の速さ）
FAST	＊2	
NORM	＊1	（プレイモードの速さ）
SLOW	/2	
SLOW	/4	（プレイモードの1/4の速さ：イニシャルセット）
SLOW	/8	
SLOW	/16	（プレイモードの1/16の速さ）
STEP	1	
STEP	3	（１コマを３秒間ずつの再生）

■ マルチスピードの速さはプレーヤーの電源を入れたときにSLOW /4に自動的にセットされます．

■ セットされた速さを変えるには－MULTI-SPEED＋ボタンを使います．（＋）側を押すたびに

SLOW /2 ➔ NORM ＊1 ➔ FAST ＊2

と速い方向にセットされます．

（－）側を押す度に

SLOW /8 ➔ SLOW /16 ➔ STEP 1

と遅い方向へセットされます．

ボタンを押している間，新しくセットされた速さが画面上に表示されます．

■ １度セットした速さは他の再生モードに変えた場合でも記憶され続けますが，EJECTボタンを押して再生を中止するとSLOW /4に戻ります．

■ マルチスピードモード以外の再生モード時にも－MULTI-SPEED＋ボタンを受付け，マルチスピード再生時のスピードをあらかじめ変えておくことができます．

☞ ２点間リピート再生中(28ページ)にはFAST ＊2，FAST ＊3の速さの再生はできません．画面上にFAST ＊2，FAST ＊3と表示された場合でもNORM ＊1の速さの再生となります．

☞ マルチスピード再生中には音声は再生されません．

ビデオ ディスク リモコン 操作

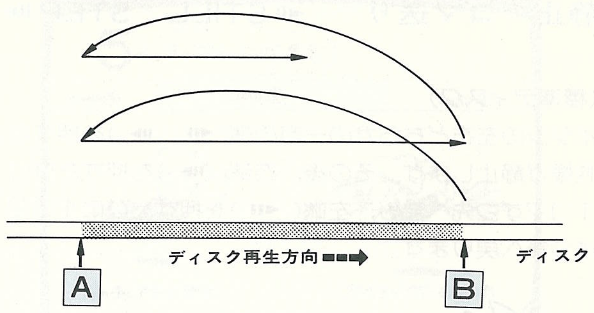
2点間リピート再生
(標準・長時間ディスク)

指定したフレーム区間を繰返し(256回)再生する機能です.

〔操作手順〕

1. リピート再生したい区間のはじめで
   REPEAT Ⓐ ボタンを押す.
2. リピート再生したい区間の終わりで
   REPEAT Ⓑ ボタンを押す.

Ⓑ ボタンを押すと, Ⓐ ボタンを押した画像(フレーム)をサーチし, Ⓑ ボタンが押されたときの再生モードで再生をはじめます.
このとき前面パネルのA-B REPEATインジケーターが点灯します.
Ⓑ ボタンを押した画像(フレーム)まで再生すると, 再び Ⓐ ボタンの押されたフレームに戻り再生を繰返します.
リピート区間の指定は標準ディスクでは, プレイ, 静止, マルチスピードでの再生中に, 長時間ディスクではプレイモードでの再生中に可能です.



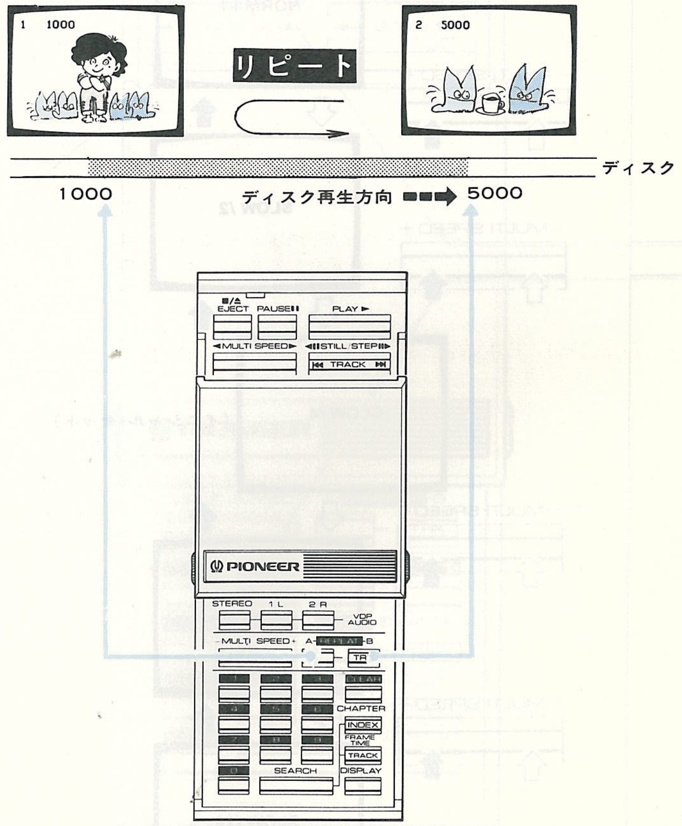
☞ 標準ディスクでマルチスピード再生をしているときに, リピート区間の指定をする場合, Ⓐ ボタンは順, 逆どちらの方向への再生中でも受付けますが, Ⓑ ボタンは順方向の再生中のみ受付け, 逆方向の再生中には受付けません.

☞ Ⓐ ボタンを押したあと, その位置よりもプログラムのはじめの方(内周)へ戻って Ⓑ ボタンを押した場合(Ⓑ < Ⓐ)には, Ⓐ ボタンの押されたところとプログラムの終わり(最外周)との間をリピートします.

〔例〕 フレーム番号1000と5000の間をリピートさせる場合

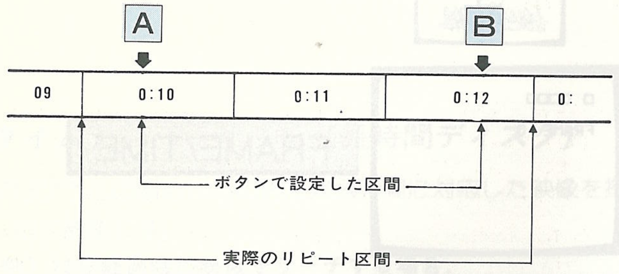
1. 1000番のフレームの映像で
   REPEAT Ⓐ ボタンを押す.
2. 5000番のフレームの映像で
   REPEAT Ⓑ ボタンを押す.

- 1000番のフレームをサーチし, そこから Ⓑ ボタンの押されたときの再生モードで再生をはじめます.
- 5000番のフレームまで再生すると, 再び1000番のフレームをサーチし, 再生をはじめます. この動作を256回繰返します.



長時間ディスクでは, タイムナンバー〔分単位〕でリピート再生しますので Ⓐ, Ⓑ ボタンで設定した区間と実際のリピート区間は必らずしも一致しません.
例えば, タイムナンバー0:10の途中で Ⓐ ボタンを, 0:12の途中で Ⓑ ボタンを押すと, 0:10のはじめから0:12のおわりまでをリピート再生します.

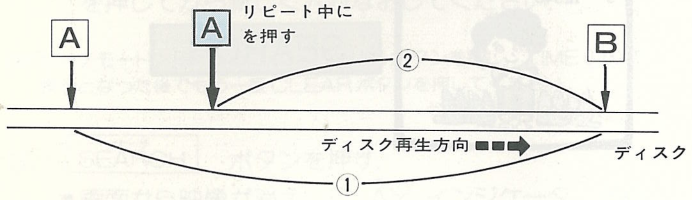
☞ 長時間ディスクでは, 最短のリピート区間は1分間です.
(同じタイムナンバーの区間で Ⓐ と Ⓑ のボタンを押した場合)



リピート再生区間を変えるには

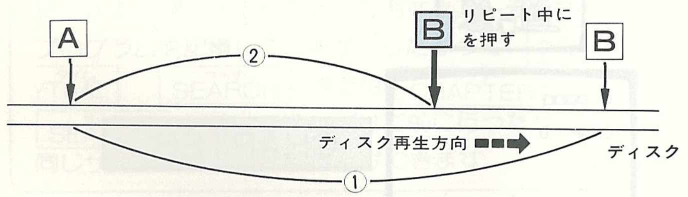
- リピート再生中にもREPEAT Ⓐ, Ⓑ ボタンを受付け, リピート区間を変更することができます.

(リピート再生中に Ⓐ ボタンを押した場合)



②の区間をそれまでのリピート回数の残りの回数リピート再生します(合わせて256回のリピートとなります)

(リピート再生中に Ⓑ ボタンを押した場合)



②の区間を新たに256回リピート再生します.

リピート中の再生モード切換

標準ディスクの場合にはリピート再生中にもプレイ, 静止/コマ送り, マルチスピード(► のみ)の各操作ボタンを受付け, 再生モードを変えることができます.(ただし, マルチスピードのFAST＊2, FAST＊3はNORM＊1の速さの再生となります.)

☞ リピート再生中には, 早送り(◄◄, ►►), 3倍速(◄×3, ×3►)マルチスピードの逆方向(◄), 一時停止(❚❚)はできません.

☞ リピート再生中も, オートマチックピクチャーストップは機能します.

リピートモードを解除するには

- 指定した区間を256回リピートし終わると, リピートモードは解除されます (A-B REPEATインジケーター:消灯).
- リピート再生中にリピートモードを解除するには, CLEARボタンを押します.

リピートの解除 ➔ **CLEAR** ボタン

ディスク片面全体のリピート再生の場合には

ディスク片面全体をリピート再生させる場合には, 前面パネルのAUTO REPEATスイッチをONにして指定することもできます. AUTO REPEATスイッチについては23ページをご覧ください.

ランダムアクセス

この機能はフレームナンバー，チャプターナンバー，タイムナンバーを利用して，目的の映像を迅速に呼出すものです．映像を再生している状態でリモコンを用いて行ないます．

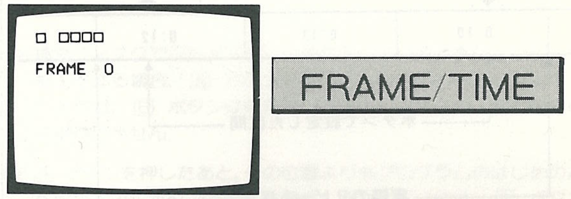
☞ 再生中のディスクに記録されているチャプターナンバー，フレームナンバー(標準ディスク)，タイムナンバー(長時間ディスク)より大きな数字を指定してサーチを行なうと最外周（再生面のプログラムの終わり)をサーチしてしまいます．ご注意ください．

フレームナンバーサーチ(標準ディスク)

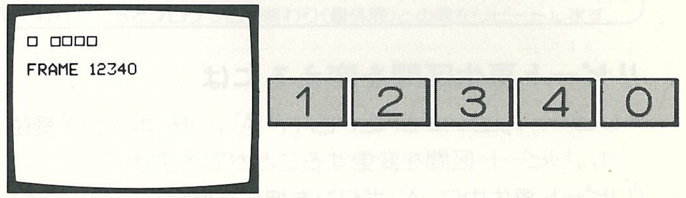
指定したフレームナンバーの映像を探し出し，静止画として再生します．

〔例〕１２３４０番のフレームをサーチする場合

1. FRAME/TIME ボタンを押す．
   - 画面にFRAMEと表示が出ます．



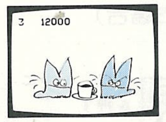
2. 1，2，3，4，0と押す．
   - 画面にFRAME １２３４０と表示されます．
   - 数字ボタンを押し違えた場合には，CLEARボタンを押してから新しく入れなおしてください．



☞ サーチモードを解除するには，CLEARボタンを押し，FRAME 0の表示となった後でもう一度CLEARボタンを押してください．

3. SEARCH ボタンを押す．
   - 画面から映像が消え，PLAYインジケーターが点滅を始めます．指定したフレームを探し出すと，静止画として再生します．

＊サーチ実行中にPLAYボタンまたはMULTI-SPEEDボタンを押すとサーチ後にそのモードで再生をはじめます．



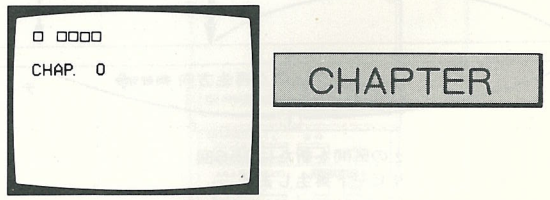
チャプターナンバーサーチ(標準・長時間ディスク)

指定したチャプターの始めを探し出す機能です．

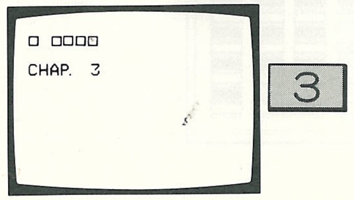
☞ チャプターナンバーが記録されていないディスクを再生している場合には，チャプターナンバーサーチは行なえません．

〔例〕チャプター３の始めをサーチする場合

1. CHAPTER ボタンを押す．
   - 画面にCHAP.と表示が出ます．



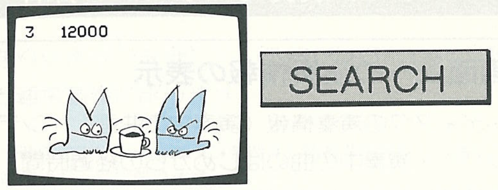
2. 3を押す．
   - 画面にCHAP.３と表示されます．
   - 数字ボタンを押し違えた場合にはCLEARボタンを押してから新しく入れなおしてください．



☞ サーチモードを解除するには，CLEARボタンを押し，CHAP.0の表示となった後でもう一度CLEARボタンを押してください．

3. SEARCH ボタンを押す．
   - 画面から映像が消え，PLAYインジケーターが点滅をはじめます．指定したチャプターの始めを探し出すと標準ディスクでは静止画として，長時間ディスクではプレイモードで再生します．

   ＊標準ディスクでは，サーチ実行中にPLAYボタンまたはMULTI-SPEEDボタンを押すと，サーチ後にそのモードで再生をはじめます．

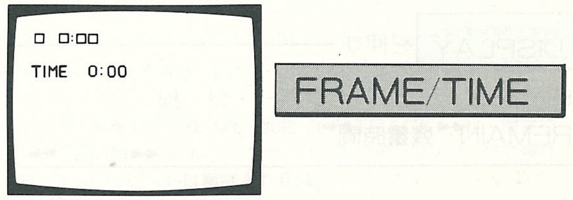


タイムナンバーサーチ（長時間ディスク）

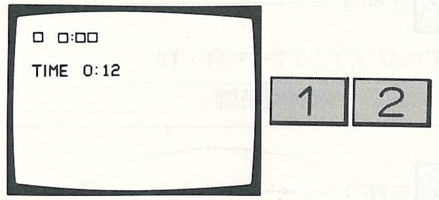
プログラムの始めからの再生経過時間に対応した映像を探し出す機能です．

〔例〕12分経過時の映像をサーチする場合．

1. FRAME/TIME ボタンを押す．
   - 画面にTIMEと表示が出ます．



2. 1，2と押す．
   - 画面にTIME 0:12と表示されます．
   - 数字ボタンを押し違えた場合にはCLEARボタンを押してから新しく入れなおしてください．



☞ サーチモードを解除するには，CLEARボタンを押し，TIME 0:00の表示となった後でもう一度CLEARボタンを押してください．

3. SEARCH ボタンを押す．
   - 画面から映像が消え，PLAYインジケーターが点滅をはじめます．指定したタイムナンバーの映像を探し出すとプレイモードで再生します．

サーチを行なうと，プレーヤーは再生を中止もしくは終了するかサーチの指定をしなおすまで，そのサーチプログラムを記憶しています．したがって FRAME/TIME SEARCH または CHAPTER SEARCH と続けて押すだけで前に行ったサーチと同じサーチを行なわせることができます．

コンパクトディスク演奏時のリモコン操作

テレビ画面上への演奏情報の表示

コンパクトディスクの演奏情報（演奏中の曲番・インデックスナンバー・演奏中の曲のはじめからの経過時間）を，本機に接続したテレビやカラーモニターの画面上に表示します．

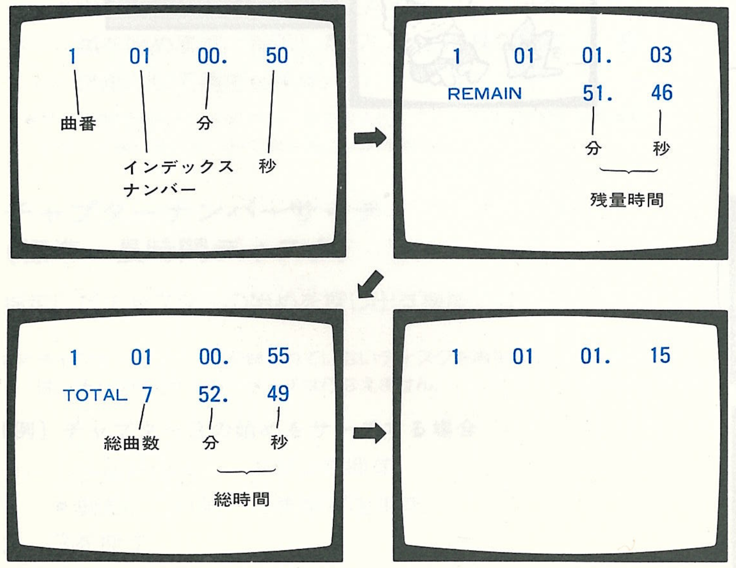
DISPLAYボタンにより，上記の演奏情報に加えて，TOTAL（ディスクに収録されている総曲数・総演奏時間）またはREMAIN（演奏中の箇所からディスクの終わりまでの残量時間）の表示ができます．

（演奏開始時）……曲番・インデックスナンバー・分・秒

DISPLAY を押す
曲番・インデックスナンバー・分・秒
REMAIN　残量時間

DISPLAY を押す
曲番・インデックスナンバー・分・秒
TOTAL　・総曲数・総演奏時間

DISPLAY を押す
曲番・インデックスナンバー・分・秒



☞ 飛び越し選曲，トラックサーチ，インデックスサーチ，リピート演奏などで演奏の開始点をさがしている間，画面上にSEARCHの表示が出ます．

飛び越し選曲 ―⏮ TRACK ⏭

コンパクトディスクの演奏をはじめたあとTRACKボタン（⏮，⏭）を使って飛び越し選曲ができます．

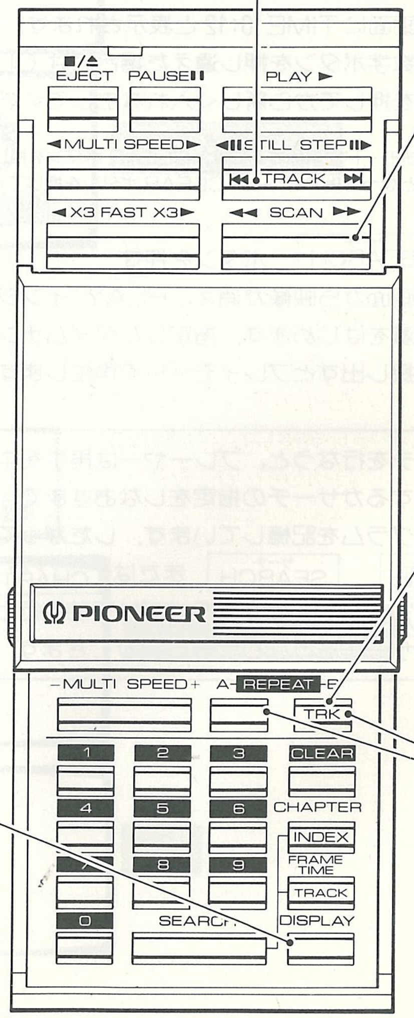
⏭側を押すと次の曲の頭出しを行ない，そこから演奏します．

⏮側を押すと演奏中の曲のはじめを頭出しして演奏します．

続けて押せば，何曲かを飛び越して希望の曲を呼出すことができます．

☞ 最終曲を越えて，飛び越し選曲すると1曲めに戻ります．
☞ 一時停止中にTRACKボタンを押した場合には，飛び越し後も曲のはじめで一時停止モードとなります．
☞ 逆方向への飛び越し選曲の場合にはボタンを押す回数に注意してください．1度めで演奏中の曲のはじめへ，2度めで1つ前の曲のはじめへ戻ります．

演奏したい曲番を直接指定して演奏したい場合には，34ページの“トラックサーチ”をご覧ください．



早送り ―― ◀◀SCAN▶▶

コンパクトディスクの演奏が始まったあと，このボタンを押すことで早送りができます．早送り音が小さく聞こえます．

▶▶：早送り
◀◀：早戻し

早送りはボタンを押している間だけ行なわれ，ボタンを離すと通常演奏に戻ります．

☞ 一時停止中に早送りボタンを押すと無音で早送りし，ボタンを離すと一時停止モードに戻ります．
☞ ディスクの終わりまで早送りすると一時停止モードになります．ディスクのはじめまで早戻ししても一時停止モードになります．

リピート演奏

1曲リピート演奏（TRK. REPEAT）

ディスクの演奏中に TRK. ボタンを押してください．ボタンが押されたときに演奏していた曲だけ繰返し聞くことができます．

1曲リピート演奏をはじめると，前面パネルの TRACK REPEATインジケーターが点灯します．

ご注意

1曲リピート演奏はリピートしたい曲の演奏がはじまったことを確認してから TRK. ボタンを押してください．ディスクの最初の曲をリピート演奏する場合に，PLAYインジケーターが点滅しているうちに TRK. を押すと，リピートする曲が確定できず，正常に動作しません．

1曲リピート演奏の解除

CLEAR ボタンを押してください．TRACK REPEATインジケーターが消灯し，リピートしていた曲の終わりまで演奏すると次の曲の演奏に移ります．

☞ リピート演奏中に，飛び越し選曲（⏮TRACK⏭），早送り（◀◀SCAN▶▶），トラックサーチ，インデックスサーチの操作を行なうとリピートは解除されます．

2点間リピート演奏（A―B REPEAT）

ディスクプログラム中の任意の2点間をリピート演奏できます．

〔操作手順〕

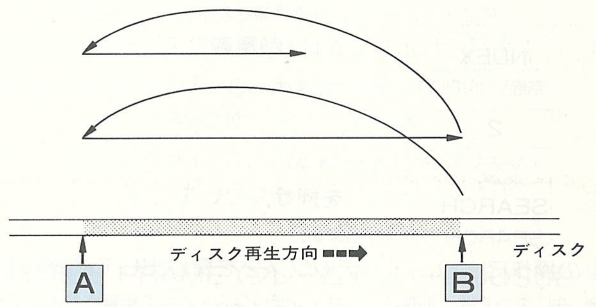
1 リピート演奏したい区間のはじめで
REPEAT A ボタンを押す．

2 リピート演奏したい区間の終わりで
REPEAT B ボタンを押す．

B ボタンを押すと，A ボタンを押した点（曲番・分・秒）をサーチしてそこから演奏をはじめます．

B ボタンを押した点（曲番・分・秒）まで演奏すると A ボタンを押した点をサーチしてA―B 2点間の演奏を続けます．

2点間リピート演奏をはじめると，前面パネルの A―B REPEATインジケーターが点灯します．



2点間リピート演奏の解除

CLEARボタンを押してください．A―B REPEATインジケーターが消灯し，通常演奏モードに戻ります．

リピートの解除➡ CLEAR ボタン

☞ リピート演奏中に，飛び越し選曲（⏮TRACK⏭），早送り（◀◀SCAN▶▶），トラックサーチ，インデックスサーチの操作を行なうとリピートは解除されます．

全曲をリピート演奏したい場合には

ディスクの全曲をリピート演奏したい場合には，前面パネルのAUTO REPEATスイッチをONにして指定することもできます．AUTO REPEATスイッチについては23ページをご覧ください．

ランダムアクセス

この機能は演奏したい曲の頭出しをしたり，曲の中での音楽の区切りをすばやく見つけ出して演奏するものです．
コンパクトディスクの演奏をはじめたあとで，リモコンを使って行ないます．

トラックサーチ

指定した曲番（TRACK）を探し出し，そこから演奏する機能です．

〔例〕 3曲めをサーチして演奏する場合
（　）内はテレビ画面上に演奏情報を表示している場合です．

1. TRACK ボタンを押す．
（画面に INPUT と表示が出ます）
2. 3 を押す．
（曲番に 3 が入ります）
3. SEARCH ボタンを押す．
（SEARCH の表示が出ます）

この操作により，3曲めを探し出して演奏します．

インデックスサーチ

指定したインデックスナンバー（1つの曲の中での音楽の区切り）を探し出し，そこから演奏する機能です．

〔例〕 3曲めを演奏中に，3曲めのインデックス2をサーチして演奏する場合
（　）内はテレビ画面上に演奏情報を表示している場合です．

1. INDEX ボタンを押す．
（画面に INPUT と表示が出ます）
2. 2 を押す．
（インデックスに 2 が入ります）
3. SEARCH ボタンを押す．
（SEARCH の表示が出ます）

この操作により，インデックス2を探し出して演奏します．

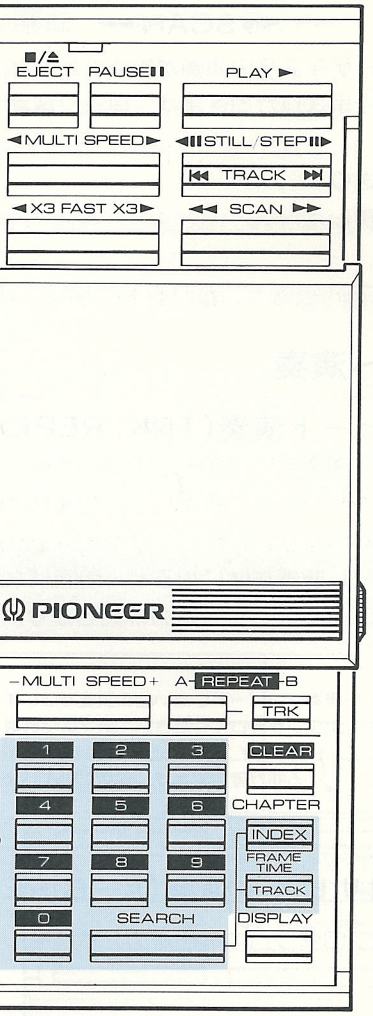
☞ 曲によっては，1曲すべてがインデックス1として記録されているものもあります．

トラックサーチとインデックスサーチを合わせて使用すれば，好きな曲の好きなインデックスを迅速に呼出して演奏することができます．

〔例〕 5曲めのインデックス2から演奏したい場合

1. TRACK ， 5 ， SEARCH と押す．
（曲番5のサーチ）
5曲めの演奏がはじまったら，
2. INDEX ， 2 ， SEARCH と押す．
（インデックス2のサーチ）

これで5曲めのインデックス2からの演奏になります．



ご 注 意

VTR をお使いの場合

映像入力端子，音声ライン入力端子をもつ VTR に本機を接続して録画・録音をされる場合に，映像入力端子をつないだままコンパクトディスクの音声を録音すると，正常に録音されない場合があります．
そのような場合には映像入力端子のプラグをはずして録音してください．それでも正常に録音できない場合には，最寄りのパイオニアオーディオインフォメーションセンター（AIC）へお問合わせください．AICの所在地，電話番号は付属のサービスネットワークをご覧ください．

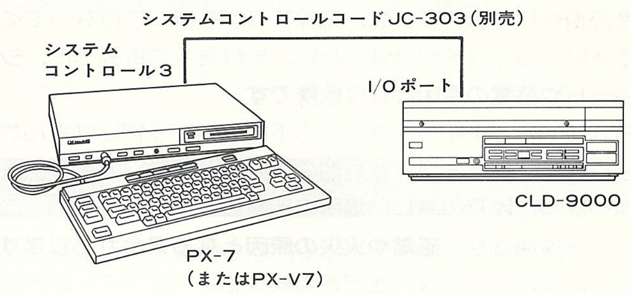
☞ コンパクトディスク演奏時にテレビ画面上に表示される演奏情報は VTR には録画できません．

あなたがテレビ放送やレコード，録画物などから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上，権利者に無断では使用できません．

I/O ポートによる外部コントロール（パイオニアパーソナルコンピューター PX-7，PX-V7による外部コントロール）

本機とパイオニアパーソナルコンピューターPX-7またはPX-V7を接続し，パーソナルコンピューターのBASIC言語で本機の機能をコントロールすることができます．
別売のシステムコントロールコードJC-303（PX-V7には付属しています）で本機の "I/Oポート" とPX-7またはPX-V7の "システムコントロール出力3" を接続します．
画面合成や音声合成も行なう場合には，本機に付属のピンプラグ付同軸ケーブル，ピンプラグ付オーディオケーブルを使って，本機とPX-7またはPX-V7を接続してください．

☞ PX-7，PX-V7の取扱説明書もご覧ください．



コントロール

1. CALL REMOTE（0，"文字式"）で下記の機能をコントロールできます．

☞（　）中の0はコントロールする機器を指定する番号です．
本機では0を使用します．

記述	コード	ビデオディスク 再生時	コンパクトディスク 演奏時
A＋	48	REPEAT-A	REPEAT-A
A－	44	REPEAT-B	REPEAT-B,TRK
C＋	47	*MULTI-SPEED＋	――
C－	46	*MULTI-SPEED－	――
D	43	DISPLAY	DISPLAY
F＋	10	SCAN ▶▶	SCAN ▶▶
F－	11	SCAN ◀◀	SCAN ◀◀
L＋	4B	AUDIO 1/L	――
L－	49	AUDIO 2/R	――
L@	4A	STEREO	――
M＋	58	*MULTI-SPEED▶	――
M－	55	*MULTI-SPEED◀	――
P＋	17	PLAY	PLAY
P@	16	EJECT	EJECT
P／	18	PAUSE	PAUSE
S＋	54	*STILL／STEP II▶	TRACK ▶▶I
S－	50	*STILL／STEP ◀II	TRACK I◀◀
T＋	51	*FAST ×3▶	――
T－	59	*FAST ◀×3	――
X	45	CLEAR	CLEAR

＊標準ディスク再生中のみの機能

（例） PLAY を送るときには
CALL REMOTE（0，"P＋"）とします．

2. CALL SEARCH（0，機能，番号）でサーチ動作（ランダムアクセス）ができます．

〈ビデオディスク再生時〉
CALL SEARCH（0，F，フレームナンバー）
………フレームナンバーサーチ（標準ディスク再生時）
CALL SEARCH（0，F，タイムナンバー）
………タイムナンバーサーチ（長時間ディスク再生時）
CALL SEARCH（0，C，チャプターナンバー）
………チャプターナンバーサーチ

〈コンパクトディスク演奏時〉
CALL SEARCH（0，F，トラックナンバー）
………トラックサーチ
CALL SEARCH（0，C，インデックスナンバー）
………インデックスサーチ

3. CALL FRAME（フレームナンバー，GOSUB〈サブルーチンプログラムのライン番号〉）
CALL CHAPTER（チャプターナンバー，GOSUB〈サブルーチンプログラムのライン番号〉）
により，ビデオディスク再生中に画像が指定したフレームナンバーまたは，チャプターナンバーのところにきたときに文番号で指定したサブルーチンのところへプログラムの制御が移ります．

プレーヤー取扱い上の注意

電源コード，プラグの取扱い

電源コードの抜き差しは，電源プラグを持って行なってください．コードを引っぱったり，ぬれた手で取扱うと，**ショートや感電の原因となり危険です．**
電源コードを本体や家具などの下に敷いたり物にはさんだりしないでください．また他のコードとつないで結び目を作ったり，往来の激しい場所に放置しないでください．コードを損傷させ，**感電や火災の原因となる場合があります．**
また，電源コードはときどき点検するようにしてください．もし損傷を受けた場合にはパイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にコードの交換をご依頼ください．

長い期間，使用しないときは

旅行や外出などで**留守にされる場合は，安全のために電源スイッチを切り，電源コードをコンセントから抜いてください．**

内部点検や改造はおやめください

ビデオディスクプレーヤーの内部には高電圧がかかっている所があります．キャビネットをあけての内部点検や改造は**感電の恐れがあり危険です．**お客様が改造を加えた場合の性能の劣化や故障については，パイオニアでは保証いたしません．

雷雨時には

ご使用中に大きな雷が近づいたときは外部アンテナを端子からはずして，電源コードをコンセントから抜いてください．

本機に異常が発生したときは

ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは，すぐに電源スイッチを切り，使用をやめてください．**必ず，電源コードをコンセントから抜き，**パイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡の上，点検を受けてください．

異物や水が入ったときは

本機の通風孔や開口部などからヘアピンや釘，硬貨などの金属性のものや紙，マッチなどの燃えやすいものを差込んだり落としたりしないでください．**故障や火災，感電の原因となります．**
異物や水が入ったときは，パイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡の上，点検を受けてください．

キャビネットのお手入れ

キャビネットの清掃は，柔らかい布で空拭きしてください．汚れがひどい場合には中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸しよく絞った後，汚れを拭きとり，その後乾いた布で拭いてください．キャビネットやパネル面にベンジン，シンナー，殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください．

保証書について

ご購入時には保証書にお買上げ店の捺印，住所，購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ，大切に保管してください．保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときは保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください．

アフターサービスについて

本機の保証期間はお買上げ後１年間となっております．万一，故障が生じたときは，保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します．
保証期間内，期間経過後とも製品の修理についてはお近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご相談ください．当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低８年間保有しています．

サービスに連絡する前に

故障かなと思ったら，次ページの「故障？　ちょっと調べてください」を見てもう一度セットの接続，操作にミスがないかを確認してください．なお，修理をご依頼のときは，次の事項を確認してお近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡ください．

1．型名，型番	4．お名前，住所，連絡先電話番号
2．故障の内容	5．ご希望訪問日
3．お買上年月日「○年○月○日」	6．ご自宅までの道順と目標〔建物，公園など〕

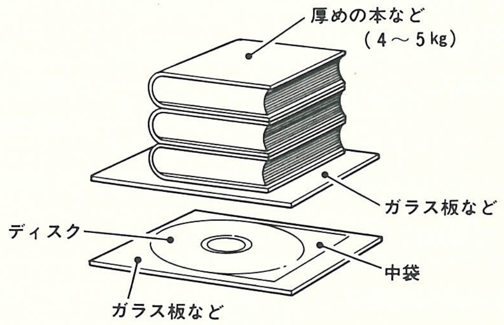
なお，本機に関するご質問，ご相談は最寄りのパイオニアオーディオインフォメーションセンター（AIC）をご利用ください．AICの所在地，電話番号は付属のサービスネットワークをご覧ください．

故障？　ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください．意外な操作ミスが故障と思われています．また，プレーヤー以外の原因も考えられます．ご使用のテレビやステレオコンポーネントおよび同時に使用している電気器具も合わせてお調べください．
次の項目をチェックしても直らない場合はお近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡ください．

症　　状	チ ェ ッ ク ポ イ ン ト
EJECTボタンを押してもディスクテーブルが出ない．	●電源スイッチは入っていますか？（電源プラグはコンセントに差込まれていますか？）
PLAYボタンを押してもディスクが回転しない．	●プレーヤーの電源コードは確実にコンセントに差込まれていますか？ ●電源スイッチは入っていますか？ ●ディスクテーブルは確実に押込まれていますか？ ●プレーヤーは結露していませんか？（7ページ参照）
操作ボタンを押しても，プレーヤーが機能しない．	●輸送用ネジはゆるめましたか？（4ページ参照） ●ディスクはセットされていますか？
VDPインジケーターが点滅し，プレーヤーが動作しない．	●いったん電源スイッチを切り，もう一度電源を入れなおしてみてください．
リモコンで操作できない．	●プレーヤーとの角度が悪かったり，距離がありすぎていませんか？　また，プレーヤーとの間に障害物がありませんか？ ●電池が消耗していませんか？
〔ビデオディスク再生時〕	
ディスクは回転しているが映像がでない．	●テレビ（カラーモニター）の電源は入っていますか？ ●プレーヤーとテレビ（カラーモニター）の接続は完全ですか？ ●テレビのチャンネルは空チャンネル（1または2）になっていますか？ ●プレーヤーのチャンネル切換スイッチは正しい位置になっていますか？（11ページ参照） ●プレーヤーが一時停止モードになっていませんか？ ●TV SELECTインジケーターが点灯していませんか？（ビデオディスクを再生する場合にはTVインジケーターは消灯させてください）
画質が悪い，映像がゆがむ．	●プレーヤーとテレビの接続が間違っていませんか？（10ページ参照） ●テレビのチャンネルとプレーヤーの空チャンネルは合っていますか？（11ページ参照） ●テレビのファインチューニングは調整してみましたか？（21ページ参照） ●プレーヤーは結露していませんか？（7ページ参照）

症　　状	チ ェ ッ ク ポ イ ン ト
テレビ番組が映らなくなった．	●VHF アンテナは正しく接続されていますか？（10ページ参照） ●TV SELECTインジケーターは点灯していますか？ （22ページ“テレビ放送を見るには”参照）
トリックプレイができない．	●再生中のディスクは長時間ディスクではありませんか？ 長時間ディスクでは，静止／コマ送り，マルチスピード，３倍速再生などのトリックプレイはできません．
静止画の一部がブレる．	●標準ディスクであっても，ディスクによっては静止画の一部がブレるものがありますが，これはプレーヤーの故障やディスクの不良ではありません．
音が出ない	●マルチスピード再生をしていませんか？ 音声は通常再生(プレイ)時のみ出力されます．その他の再生モード時には音は出ません．
特定のディスクで画質が悪い，画面が乱れる，再生ができない．	●ディスクに大きな傷があったり，変形をうけていませんか？ もし，ディスクが変形してしまった場合には，ディスクを中袋に入れてガラスなどの平らな板ではさみ，４～５kgの重しをして１日ほどそのままにしてください．そりなどが軽減されることがあります．



〔コンパクトディスク演奏時〕	
演奏をはじめてもすぐにストップしてしまう．	●ディスクの裏表を逆にしていませんか？ ディスクは，レーベル面を上にしてディスクテーブルにセットしてください．
音が出ない．	●プレーヤーとステレオアンプの接続が間違っていませんか？ ●ステレオアンプの操作が違っていませんか？ ●接続コードのピンプラグやアンプの入力端子が汚れていませんか？ ●接続コードのプラグの差込み方が不完全でありませんか？ ●プレーヤーの“オーディオ出力２”端子を使っていませんか？ “オーディオ出力２”端子からはコンパクトディスクの音は出力されません． “オーディオ出力１”端子をご使用ください． ●プレーヤーが一時停止モードになっていませんか？

症　　状	チ ェ ッ ク ポ イ ン ト
音がひずむ．	●プレーヤーとステレオアンプの接続が間違っていませんか？ プレーヤーの“オーディオ出力１”端子と，ステレオアンプのAUX，CD，TUNERなどの端子を接続してください．（アンプのPHONO入力端子には接続しないでください） ●接続コードのピンプラグやアンプの入力端子が汚れていませんか？ ●接続コードのプラグの差込み方が不完全ではありませんか？
特定のディスクで大きなノイズが出る． 演奏がストップしてしまう．	●ディスクが極端に汚れていませんか？ ディスクが汚れている場合には，柔らかい布で表面を軽く拭いてください．油などのひどい汚れの場合には中性洗剤をうすめた水に柔らかい布を浸し，よくしぼってから汚れを拭取り，そのあと乾いた布で水気を拭取ってください．

仕　様

１．一　般

型式 ………レーザービジョンビデオディスクシステム
　およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 ………………………… AC 100V，50／60Hz
消費電力 ………………………………………… 42W
重量 ……………………………………………… 16kg
外形寸法 …… 420(幅)×447(奥行)×168(高さ)mm
許容動作温度 ……………………………+5°C～+35°C
許容動作湿度 ……………… 5～90%(結露のないこと)

２．使用ディスク

ビデオディスク（LaserVision Disc）

30cm標準ディスク(CAV) ―― 両面最大１時間再生可
30cm長時間ディスク(CLV) ―― 両面最大２時間再生可
20cm標準ディスク(CAV) ―― 両面最大 28 分再生可
20cm長時間ディスク(CLV) ―― 両面最大 40 分再生可
回転数 ……………………… 標準ディスク 1800rpm
　長時間ディスク 1800rpm～600rpm
　(30cmディスク時)

コンパクトディスク

直径 120mm，厚さ 1.2mm
回転方向(読取り面) ……………………… 反時計方向，
　線速度 1.2～1.4m/sec
最大再生時間 ………………… 60分以上(ステレオ時)

３．出　力

VHF出力
　NTSC方式標準TV受像機に適合
　搬送周波数 ………………………… 1CH/2CH切換可
　出力端子 ……………… F型ジャック(75Ω，不平衡)

映像出力
　出力レベル …………… 1Vp-p(75Ω負荷時，同期負)
　出力端子 ……………………………… ピンジャック

音声出力

	オーディオ出力１	オーディオ出力２
ビデオディスク (LaserVision Disc)	○	○
デジタル音声ビデオディスク (LaserVision with Digital Sound Disc)	○*	○**
コンパクトディスク	○	――

* デジタル音声／アナログ音声 切換可能
**アナログ音声のみを出力

チャンネル数
　ビデオディスク再生時 ………… 独立２チャンネル
　(1/L，2/R，ステレオ)
　コンパクトディスク演奏時 ………… ２チャンネル
　(ステレオ)

デジタル音声特性(オーディオ出力１端子)
　周波数特性 ……………… 5Hz～20kHz±0.5dB
　S/N ………………………………… 96 dB(1kHZ)
　ダイナミックレンジ ……………… 96 dB(1kHZ)
　チャンネルセパレーション ……… 94 dB(1kHZ)
　ワウ・フラッター ……………… 水晶振動子精度
　歪率 ………………… 0.003%(1kHz，0dB)

出力レベル
　オーディオ出力１
　　アナログ音声出力時 ……………… 260mVrms
　　(1kHz，40%)
　　デジタル音声出力時 ……………… 260mVrms
　　(1kHz，−20dB)

オーディオ出力2 …… 260mVrms(1kHz，40%)
出力端子 ………… 1，2ともにステレオピンジャック

4．機　能

リモコンユニット(CU-9000)で操作可能な機能

機　　能	ビデオディスク 標準ディスク	ビデオディスク 長時間ディスク	コンパクトディスク
プレイ	○	○	○
ストップ	○	○	○
一時停止	○	○	○
早送り(順・逆両方向)	○	○	○
2点間リピート	○	○	○
3倍速再生(順・逆両方向)	○	×	—
静止／コマ送り(順・逆両方向)	○	×	—
マルチスピード再生(順・逆両方向，9段階可変)	○	×	—
マルチスピード表示	○	×	—
フレームナンバー表示	○	×	—
タイムナンバー表示	×	○	—
チャプターナンバー表示	○*	○*	—
フレームナンバーサーチ	○	×	—
タイムナンバーサーチ	×	○	—
チャプターナンバーサーチ	○*	○*	—
チャプターストップ	○*	○*	—
1曲リピート演奏	—	—	○
飛び越し選曲	—	—	○
トラック(曲番)サーチ	—	—	○
インデックスサーチ	—	—	○
テレビ(モニター)画面上への演奏情報の表示	—	—	○

本体のボタンまたはスイッチで操作可能な機能

機　　能	ビデオディスク 標準ディスク	ビデオディスク 長時間ディスク	コンパクトディスク
プレイ	○	○	○
イジェクト	○	○	○
オートリピート オン／オフ 切換	○	○	○
CXノイズリダクション オン／オフ 切換	○**	○**	—

＊ チャプターナンバーが記録されているディスク使用時に可能
＊＊CXマーク付きのディスク使用時に有効

その他の機能(ビデオディスク)

オートマチックピクチャーストップ …………………… ピクチャーストップコードが記録された標準ディスクだけの機能

デジタル音声ディスク再生時のデジタル音声／アナログ音声出力切換 ……………… デジタル音声ディスク使用時にオーディオ出力1端子のデジタル／アナログ音声切換

5．その他の端子

I／Oポート(外部制御用入出力端子)
サブコード出力端子
ヘッドホン出力端子

6．付属品

- リモコンユニット(CU-9000) …………………… 1
- 単3乾電池(SUM-3) …………………………………… 2
- F型プラグ付同軸ケーブル ……………………………… 1
- ピンプラグ付同軸ケーブル ……………………………… 1
- ピンプラグ付オーディオケーブル ………………………… 1
- 変換器(300Ω→75ΩF) ………………………………… 1
- 75Ω簡易F型プラグアダプター …………………………… 1
- 取扱説明書 ………………………………………………… 1
- 保証書 ……………………………………………………… 1
- サービスネットワーク …………………………………… 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更する時があります。

LV マークはレーザービジョンビデオディスクの統一マークです。
LaserDisc レーザーディスクは，パイオニアの商標です。

パイオニア株式会社　〒153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号